

第62回

The 62nd Annual Congress of
Japan Municipal Hospital Association in Niigata



全国自治体病院学会 in 新潟

自治体病院の共奏が支える明日の日本
～令和の医療に灯をともしせ～

会期 2024年10月31日(木)・11月1日(金)

学会長 吉嶺 文俊 新潟県立十日町病院 院長

会場 朱鷺メッセ 新潟コンベンションセンター・
ホテル日航新潟

主催 公益社団法人 全国自治体病院協議会

共催 全国自治体病院開設者協議会

<https://shinsen-mc.co.jp/jmha62/>



開催案内

マヤシノン/MADアーキテツツ「Tunnel of Light」(大地の芸術祭作品)


**ANA
CROWNE PLAZA®**
AN IHG HOTEL
NIIGATA

ANAクラウンプラザホテル新潟

ANA CROWNE PLAZA NIIGATA



※写真は全てイメージです。



新潟駅より徒歩約7分。市内中心部に位置しながらも閑静な雰囲気シティホテル。インターコンチネンタルホテルズグループの世界基準クオリティでお客様に寛ぎの時間をお届けします。

ショッピング、観光、レジャー、ビジネスにも最適な立地で、県内外、国外のお客様をお迎えております。

182の客室は、森の中をイメージしたシックな客室と、シモンズ製ベッド、アイウオーマーや入浴剤、オリジナルのお茶などのオリジナルアメニティ「スリープアドバンテージ」でお客様の快眠をサポート。海と山に囲まれた新潟ならではの、地産食材を取りそろえた朝食で皆さまをお待ちしております。

【アクセス】

- 新潟駅(万代口より) / タクシー利用約5分、徒歩約10分
- 佐渡汽船 / タクシー利用約5分
- 高速道路 / 新潟西・新潟中央各インターチェンジより約20分、新潟亀田インターチェンジより約15分
- 新潟空港 / タクシー利用約20分、リムジンバス利用(約25分)「新潟駅南口」下車 徒歩約18分
路線バス利用(約33分)「万代シティバスセンター」下車 徒歩約6分

ANAクラウンプラザホテル新潟

〒950-8531 新潟市中央区万代5-11-20 TEL025-245-3333 FAX025-243-0493





CONTENTS

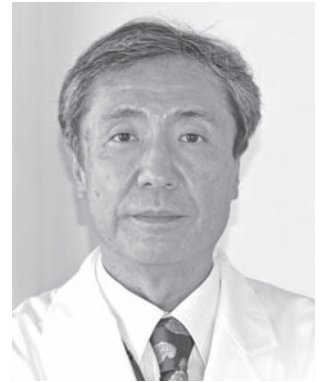
学会へのご案内（ごあいさつ）	3
会期・会場及びお問合せ先	4
会場までの交通機関、会場周辺案内図	5
学会日程表（予定）	6
総会プログラム	10
総会シンポジウムⅠ	12
総会シンポジウムⅡ	13
分科会プログラム	
[職種・技術系]	
看護・看護教育分科会	14
臨床医学分科会	15
臨床医学分科会（精神科領域）	16
薬剤分科会	17
臨床検査分科会	18
放射線分科会	19
栄養分科会	20
リハビリテーション分科会	21
臨床工学分科会	22
[経営・管理系]	
経営・管理分科会	23
地域医療・連携・福祉分科会	24
地域医療・連携・福祉分科会（精神科領域）	25
中小病院委員会企画	26
県民公開講座	
総会特別講演Ⅰ・Ⅱ	27
学会参加登録	28
演題発表申し込み	32
ポスターセッションについて	36
宿泊のご案内	38
エクスカージョンのご案内	40



自治体病院の共奏が支える 明日の日本

～令和の医療に灯をともしせ～

学会長 吉嶺 文俊
新潟県立十日町病院 院長



第62回全国自治体病院学会を2024年10月31日（木）から同11月1日（金）の2日間にわたり、新潟市の朱鷺メッセ新潟コンベンションセンター、ホテル日航新潟において開催いたします。

本学会のメインテーマは、「自治体病院の共奏が支える明日の日本 ～令和の医療に灯をともしせ～」とさせていただきます。

人生100年時代。これから生まれてくる令和の子供たちは、果たして22世紀に天寿を全うすることができるのでしょうか。昭和～平成～令和という時代の移ろいの中で、あぶり出されてきた本質的な課題を共有し、さらに3つの「共奏」、すなわち競争（Competition）、共創（Co-Creation）、協奏（Concerto）を通して、自治体病院の使命とは何かを徹底的に議論したいと考えております。

本学会では従来の総会及び各分科会の企画に加えて、中小病院や救急医療に焦点を当てたシンポジウムも計画しました。さらにポスター会場においては、すべてのセッションにおいて二日間貼り替えなしとし、参加者同士の交流の場としてもご活用頂けるような会場設営を目指しております。

新潟での開催は昭和56年（1981年）以来実に43年ぶりです。明治の一時期には日本で最も人口が多かった新潟県は、今なお200万人を超える県民が生活しています。広大な県土は、政令指定都市のある越後平野、日本有数の豪雪地・魚沼、そして粟島・佐渡島など多彩であり、それぞれに独特の伝統や文化が息づいています。

学会開催の時期は実りの秋。コシヒカリや新之助などの新米、89の酒蔵の共奏が織りなす越後の銘酒、キノコ王国山の幸そして日本海の幸をご用意し、みなさまのご参加を心よりお待ちしております。



会期・会場及びお問合せ先

会期

第1日目 2024年10月31日(木)

開会式、会長特別講演、総会シンポジウムⅠ、分科会、ランチョンセミナー、交流会

第2日目 2024年11月1日(金)

第61回全国自治体病院学会最優秀演題発表、総会シンポジウムⅡ、中小病院委員会企画、総会特別講演Ⅰ・Ⅱ(県民公開講座)、分科会、ランチョンセミナー、閉会式

会場

朱鷺メッセ新潟コンベンションセンター(講演会場、ポスター会場、展示会場、交流会会場)

〒950-0078 新潟市中央区万代島6-1

TEL: 025-246-8400

ホテル日航新潟(講演会場)

〒950-0078 新潟市中央区万代島5-1

TEL: 025-240-1888

お問合せ

学会事務局

新潟県病院局 総務課総務係

〒950-8570 新潟市中央区新光町4番地1

TEL: 025-280-5552 FAX: 025-285-3843

運営事務局

【学会の運営・プログラム、演題登録についてはE-mailでお問合せください。】

株式会社シンセンメディカルコミュニケーションズ内

〒950-0983 新潟市中央区神道寺1-6-14

TEL: 025-278-7232 FAX: 025-278-7285

E-mail: jmha62@shinsen-mc.co.jp

〈営業時間〉9:30~17:30(土・日・祝祭日休業)

オフィシャル・トラベルエージェント

【事前参加登録・宿泊・エクスカーションについてのお問合せ先】

株式会社JTB新潟支店

〒950-0082 新潟市中央区東万代町1-30 新潟第一生命ビル3F

「第62回全国自治体病院学会」係

TEL: 025-255-5101 FAX: 025-248-7687

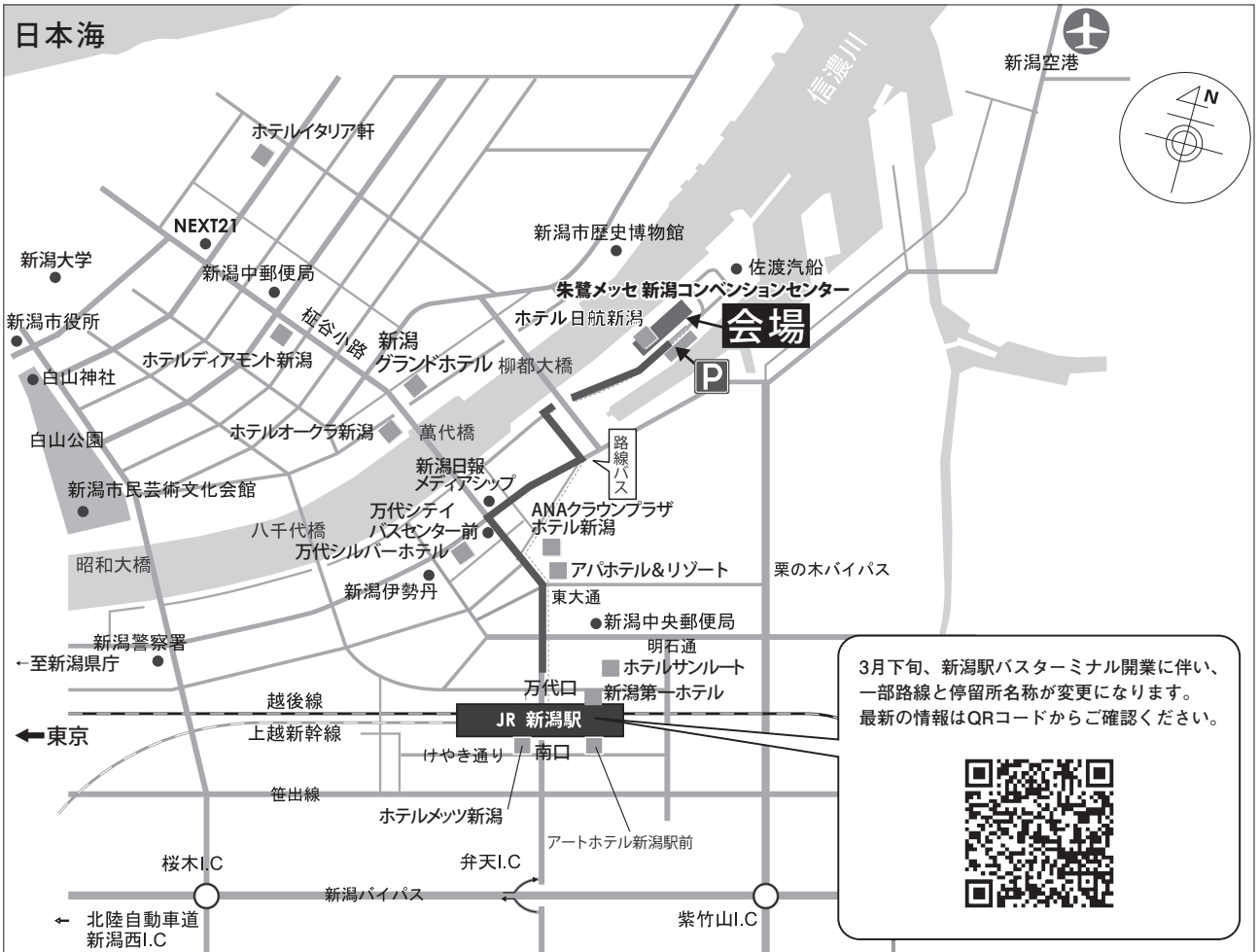
E-mail: niigata_ec@jtb.com

〈営業時間〉9:30~17:30(土・日・祝祭日休業)

担当: 後藤・中安



会場までの交通機関、会場周辺案内図



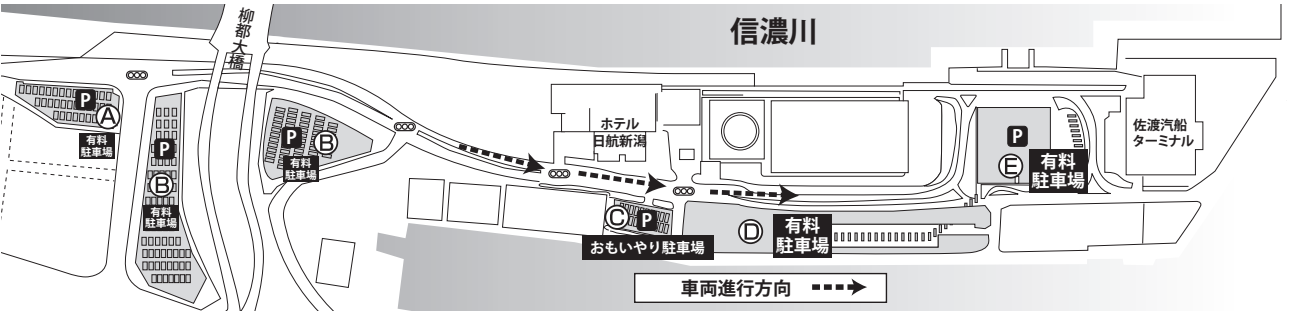
新潟へのアクセス

飛行機を利用する	路線バス(佐渡汽船行き)																											
<table border="1"> <tr> <td>札幌</td> <td>新千歳空港</td> <td>約1時間15分</td> <td rowspan="2">約2,800円</td> <td rowspan="2">タクシー 約20分</td> </tr> <tr> <td>札幌</td> <td>丘珠空港</td> <td>約1時間45分</td> </tr> <tr> <td>大阪</td> <td>大阪国際空港(伊丹空港)</td> <td>約1時間</td> <td rowspan="2">約25分</td> <td rowspan="2">約1,200円</td> </tr> <tr> <td>名古屋(小牧)</td> <td>県営名古屋空港</td> <td>約1時間</td> </tr> <tr> <td>福岡</td> <td>福岡空港</td> <td>約2時間</td> <td>約20~30分間隔</td> <td>約5分</td> </tr> </table>	札幌	新千歳空港	約1時間15分	約2,800円	タクシー 約20分	札幌	丘珠空港	約1時間45分	大阪	大阪国際空港(伊丹空港)	約1時間	約25分	約1,200円	名古屋(小牧)	県営名古屋空港	約1時間	福岡	福岡空港	約2時間	約20~30分間隔	約5分	<table border="1"> <tr> <td>260円(約15分)</td> <td>約20分</td> </tr> <tr> <td>約1,200円</td> <td>約5分</td> </tr> <tr> <td>徒歩</td> <td>約20分</td> </tr> </table>	260円(約15分)	約20分	約1,200円	約5分	徒歩	約20分
札幌	新千歳空港	約1時間15分	約2,800円			タクシー 約20分																						
札幌	丘珠空港	約1時間45分																										
大阪	大阪国際空港(伊丹空港)	約1時間	約25分	約1,200円																								
名古屋(小牧)	県営名古屋空港	約1時間																										
福岡	福岡空港	約2時間	約20~30分間隔	約5分																								
260円(約15分)	約20分																											
約1,200円	約5分																											
徒歩	約20分																											

各航空会社へお問い合わせください。 <http://www.n-airport.co.jp/flight/>

鉄道を利用する	JR新潟駅		
秋田	特急いなほ	約4時間	
仙台	東北新幹線	JR大宮駅 上越新幹線	約3時間50分
東京	上越新幹線	JR大宮駅 上越新幹線	約2時間
金沢	北陸新幹線	上越妙高駅 特急しらゆき	約3時間10分
名古屋	東海道新幹線	JR東京駅 上越新幹線	約3時間30分

近隣の駐車場：1日最大 1,500円【A～E】※学会参加の優待はありません。



会場までの交通機関、会場周辺案内図



学会日程表 (予定)

1日目 10月31日(木)

		8:30	9:00	10:00	11:00	12:00
第1会場	朱鷺メッセ 展示ホール B		開会式	会長特別講演 「いかなる時も地域を守る ～自治体病院に勤務して 36年～」	総会シンポジウムI 基調講演 『日本を支える自治体病院の 共奏とその使命』	
第2会場	朱鷺メッセ メインホール A					
第3会場	朱鷺メッセ メインホール B					
第4会場	朱鷺メッセ 国際会議室					
第5会場	朱鷺メッセ 中会議室 201					
第6会場	朱鷺メッセ 中会議室 301					
第7会場	朱鷺メッセ 中会議室 302					
第8会場	ホテル日航新潟 朱鷺 A・B					
ポスター 展示会場	朱鷺メッセ 展示ホール A		ポスター受付・貼付	ポスター閲覧		企業展示

12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00	18:00	20:00
							交流会
	ランチョンセミナー①		看護・看護教育分科会 『原点から紡ぐ看護の多様性：受け入れ、活かす令和の看護』				
	ランチョンセミナー②		特別講演 『看護の本質を問う』	シンポジウム 『令和から未来へ、 看護によるキョウソウの灯をともしせ！ ～共奏、共創、競争～』			
	ランチョンセミナー③		経営・管理分科会 『病院経営を支える事務部門の強化』				
			シンポジウム 『全員参加型の病院経営に与える 事務部門の調整能力』	医療の質・医療安全指標の評価・ 公表等推進事業シンポジウム 『臨床指標 ～より良い改善を求めて～』			
	ランチョンセミナー④		薬剤分科会 『ポリファーマシー、multimorbidity時代に、 医薬品副作用をアセスメントする ～早期介入に灯をともしせ～』				
			特別講演 『薬の安全性の視 点から取り組むポ リファーマシー対 策(仮)』	シンポジウム 『ポリファーマシー、multimorbidity時代に、 医薬品副作用をアセスメントする』			
	ランチョンセミナー⑤		臨床医学分科会 『臨床医学の新たな展開』				
			シンポジウム 『地域医療におけるDXの活用』		特別講演 『医師の働き方 改革 ～半年を経過し て～』		
	ランチョンセミナー⑥		栄養分科会 『未来につなぐ栄養～それぞれのライフステージにおける栄養管理～』				
			特別講演Ⅰ 小児期の栄養管理 『小児期の食物アレルギーについて(仮)』	特別講演Ⅱ 成人期の栄養管理 『がんサバイバーの メンタルヘルスと栄養 (仮)』	特別講演Ⅲ 老年期の栄養管理 『時間栄養学を とり入れた高齢者の 栄養管理(仮)』		
	ランチョンセミナー⑦		放射線分科会 『時代の変化を捉え深化する放射線診療への挑戦』				
			特別講演Ⅰ 『STAT画像報告 の重要性』	特別講演Ⅱ 『体幹部定位放射線 治療と治療後の 画像変化について』	特別講演Ⅲ 『画像診断の 過去・現在・未来』		
	ポスター閲覧		一般演題発表				
			企業展示				



学会日程表 (予定)

2日目 11月1日(金)

		8:30	9:00	10:00	11:00	12:00
第1会場	朱鷺メッセ 展示ホール B	第61回 最優秀演題発表		総会シンポジウムⅡ 『地方政令指定都市における救急医療を考える』		
		地域医療・連携・福祉分科会 「ともにつくる持続可能な地域医療システム」-地域医療のSDGs-				
第2会場	朱鷺メッセ メインホール A	特別講演I 『地域医療構想を新潟県で考えた(2040年の地域医療をどう支えるか)』	特別講演II 『ICTを地域医療・連携に活かすのは誰だ?~佐渡ヶ島の挑戦~』	シンポジウムI 『自治体病院が灯をともし地域医療』		シンポジウムII 『地域で包括ケア人材を育成する』
		中小病院委員会企画 『未来に繋がる中小病院、これからの中小病院』				
第3会場	朱鷺メッセ メインホール B	特別講演 『これからの中小病院(仮)』	シンポジウム 『未来に繋がる中小病院、これからの中小病院』			
		リハビリテーション分科会 『住み慣れた地域で生活を続けたい』~リハビリの共奏を実現するには~				
第4会場	朱鷺メッセ 国際会議室	特別講演 『運動器リハビリテーションにおける共奏』	シンポジウム 『住み慣れた地域で生活を続けたい』 リハビリの共奏を実現するには			
		臨床検査分科会 『移り行く時代に対応する臨床検査室を目指して』				
第5会場	朱鷺メッセ 中会議室 201	報告発表 『新潟県内における臨床検査技師の地域医療連携』	特別講演I 『拡がりを持った検査室を目指して~専門性の複数化~』	特別講演II 『リスクマネジメントを介したよりよい臨床検査室運営』		
		臨床工学分科会 『医療DXのために臨床工学技士が果たすべき役割』				
第6会場	朱鷺メッセ 中会議室 301	特別講演I 『コンピューターネットワークの基礎とセキュリティ』	特別講演II 『医療DXのために臨床工学技士が果たすべき役割』	シンポジウム 『ここまでできた医療機器管理システム(医療機器管理のIT利用について)』		
		臨床医学分科会(精神科領域)、地域医療・連携・福祉分科会(精神科領域) 『依存と虐待における精神医学的アプローチ』				
第7会場	朱鷺メッセ 中会議室 302	臨床医学分科会(精神科領域) 特別講演 『うまく生きられないあなたへ-依存症と愛着障害、逆境体験』		地域医療・連携・福祉分科会(精神科領域) シンポジウム 『虐待における精神医学的現状と課題-児童、高齢者、精神保健福祉の視点から』		
		ホテル日航新潟 朱鷺 A・B				
ポスター 展示会場	朱鷺メッセ 展示ホール A	一般演題発表				
		企業展示				

12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00
	総会特別講演(県民公開講座)			閉会式	
	総会特別講演I (県民公開講座) 「ダンスが果たす 使命」	総会特別講演II(県民公開講座) 「次世代医療人の育成 ～22世紀に向けて～」			
	ランチョンセミナー⑧				
	ランチョンセミナー⑨				
	ランチョンセミナー⑩				
	ランチョンセミナー⑪				
	ランチョンセミナー⑫				
	ランチョンセミナー⑬				
	ポスター閲覧		ポスター撤去		



総会プログラム

第1日目 2024年10月31日（木）第1会場

◇開会式 8:45 ~ 9:30

◇会長特別講演 9:30 ~ 10:30

演 題 「いかなる時も地域を守る ～自治体病院に勤務して36年～」
講 師 小熊 豊（公益社団法人全国自治体病院協議会 会長）
座 長 大谷 哲也（新潟市病院事業管理者 新潟市民病院 病院長）

◇総会シンポジウムⅠ 10:30 ~ 12:00

テ ー マ 「日本を支える自治体病院の共奏とその使命」
基調講演演者 「大変革の時代における自治体病院の存在意義（仮）」
伊関 友伸（城西大学経営学部 マネジメント総合学科 教授）
シンポジストⅠ 「新潟県の医療再編と県立病院」
山崎 理（新潟県病院事業管理者・新潟県病院局長）
シンポジストⅡ 「コロナ禍を経験した自治体病院の新たな使命とは（仮）」
本竹 秀光（沖縄県病院事業管理者・沖縄県病院事業局長）
シンポジストⅢ 「自治体病院の使命と地域への貢献」
貞弘 光章（山形市病院事業管理者・山形市立病院済生館館長）
コメンテーター 滝 陽介（総務省自治財政局準公営企業室 室長）
コメンテーター 佐々木 孝治（厚生労働省医政局地域医療計画課 課長）
座 長 公益社団法人全国自治体病院協議会 副会長
座 長 公益社団法人全国自治体病院協議会 副会長

第2日目 2024年11月1日(金) 第1会場

◇第61回全国自治体病院学会最優秀演題発表 8:30～9:30

座長 田中 典生(新潟県立新発田病院 院長)

◇総会シンポジウムⅡ 9:30～12:00

テーマ 「地方政令指定都市における救急医療を考える」

シンポジストⅠ 「新潟市の救急医療の現状と問題点」

廣瀬 保夫(新潟市民病院 救命救急・循環器病・脳卒中センター センター長)

シンポジストⅡ 「仙台市の救急医療システム改善の取り組み」

山内 聡(仙台市立病院 救命救急センター長)

シンポジストⅢ 「浜松市における救急搬送の現況」

早川 達也(聖隷三方原病院 高度救命救急センター長)

シンポジストⅣ 「熊本市における救急医療(仮)」

奥本 克己(熊本赤十字病院 救命救急センター長)

シンポジストⅤ 「北九州市における救急医療の現状(仮)」

木戸川 秀生(北九州市立八幡病院 救命救急センター長)

シンポジストⅥ 「「搬送困難事案への対処」に関する演題」

松村 洋輔(千葉県総合救急災害医療センター 救急診療部長・集中治療科部長)

指定発言 西山 慶(新潟大学大学院医歯学総合研究科 救命救急医学分野 教授)

座長 公益社団法人全国自治体病院協議会 副会長

座長 公益社団法人全国自治体病院協議会 副会長

◇総会特別講演Ⅰ(県民公開講座) 13:00～14:00

演者 「ダンスが果たす使命」

国友 慎之助(Dance Presentation UNITY 総合代表)

アトラクション CHIBI UNITY

座長 吉嶺 文俊(新潟県立十日町病院 院長)

◇総会特別講演Ⅱ(県民公開講座) 14:00～15:30

テーマ 「次世代医療人の育成～22世紀に向けて～」

演者 下條 文武(新潟薬科大学 学長)

演者 西澤 正豊(新潟医療福祉大学 学長)

演者 牛木 辰男(新潟大学 学長)

司会 伊勢 みずほ(フリーアナウンサー・新潟薬科大学非常勤講師)

座長 井口 清太郎(新潟大学大学院医歯学総合研究科 地域医療確保・地域医療課題解決支援講座 地域医療分野 特任教授)

座長 上村 顕也(新潟大学医学部 医学科 総合診療学講座 教授)

◇閉会式 15:30～16:00



総会シンポジウム I

テーマ

『日本を支える自治体病院の共奏とその使命』

惑星直列第二弾ともいふべき2024年度を迎え、これまで世界最高峰といわれる医療体制を築いてきた日本ですが、これから22世紀まで輝き続けるために、私たち自治体病院はいま何をすべきでしょうか。本学会のテーマである3つの共奏（競争、共創、協奏）の視点を踏まえながら、オープニングシンポジウムとして議論の場を設定させていただきました。

まずは基調講演に「自治体病院の歴史 住民医療の歩みとこれから」の著者であり、全国津々浦々の医療改革に関わってこられた伊関友伸氏をお願いいたしました。これまでの豊富なご経験から、私たち自治体病院への元気で明るい応援メッセージを頂戴できればと考えております。

シンポジストとして、山形市、沖縄県および新潟県の3人の病院事業管理者にご登壇いただきます。それぞれの地域における光と影の歴史を辿りながら、自治体病院の使命とは何かを熱く語って頂きます。

さらに総務省・厚生労働省からもコメントを頂戴し、フロアの皆様とともに盛り上げていきたいと思っております。

総会シンポジウム I 【2024年10月31日(木)10:30～12:00】

基調講演者

『大変革の時代における自治体病院の存在意義（仮）』

伊関 友伸（城西大学経営学部 マネジメント総合学科 教授）



シンポジスト I

『新潟県の医療再編と県立病院』

山崎 理（新潟県病院事業管理者・新潟県病院局長）

シンポジスト II

『コロナ禍を経験した自治体病院の新たな使命とは（仮）』

本竹 秀光（沖縄県病院事業管理者・沖縄県病院事業局長）

シンポジスト III

『自治体病院の使命と地域への貢献』

貞弘 光章（山形市病院事業管理者・山形市立病院済生館館長）

コメンテーター

滝 陽介（総務省自治財政局準公営企業室 室長）

コメンテーター

佐々木 孝治（厚生労働省医政局地域医療計画課 課長）

座長

公益社団法人全国自治体病院協議会 副会長

座長

公益社団法人全国自治体病院協議会 副会長



総会シンポジウムⅡ

テーマ

『地方政令指定都市における救急医療を考える』



新潟市民病院 救命救急・循環器病・脳卒中センター センター長
廣瀬 保夫

現在、新潟市では救急医療に関する問題が顕在化し、様々な議論が巻き起こっております。新潟医療圏は新潟市とその周辺で対象人口は約100万人、救命救急センターを持つのは新潟大学医歯学総合病院と新潟市民病院のみで、救急要請数は年々増加、高齢患者の増など質的にも変容し、救急医療にかかる負荷は増えるばかりです。更に医師の働き方改革も本格化し、今後は一体どうなるんだろう、との不安を持っている者は多いと思います。

そんな時、他の地域はどうなんだろう、との思いが頭をよぎります。あそこはうまくいっているみたいだが、何か良い方法はあるのだろうか？しかし、他の都市の実情はなかなか知る機会がありません。この度、本学会が当地で行われることになり、それに便乗して他の都市では一体どうなっているのか知りたい、参考にしたい、との声があがり、このシンポジウムの企画に至りました。

今回のシンポジストは政令市の救命救急センターを擁する病院で救急医療の実務を担っておられ、その地域における正に救急医療のキーパーソンをお願いいたしました。政令市の中でも新潟市と同規模の人口80～100万人程度の都市から選ばせていただきました。ディスカッションは各病院からの立場のみならず地域の救急医療としての観点から行っていただき、今後の救急医療体制の整備に貢献できるものになればと考えております。

救急医療体制は全国的に一次、二次、三次と整備されることになっております。しかし、医療のリソースは地域により異なり、まさに地場産業でやっていくしかありません。うまくいっている地域、問題を抱える地域、様々なのが実情と思われまます。全国学会ですのに地元の関係者の思いからの企画で、若干の後ろめたさもありますが、必ずや他の地域の皆様にも有用な議論が展開されると確信しております。多数の皆様のご来場をお願いいたします。

総会シンポジウムⅡ【2024年11月1日(金)9:30～12:00】

- シンポジストⅠ **「新潟市の救急医療の現状と問題点」**
廣瀬 保夫 (新潟市民病院 救命救急・循環器病・脳卒中センター センター長)
- シンポジストⅡ **「仙台市の救急医療システム改善の取り組み」**
山内 聡 (仙台市立病院 救命救急センター長)
- シンポジストⅢ **「浜松市における救急搬送の現況」**
早川 達也 (聖隷三方原病院 高度救命救急センター長)
- シンポジストⅣ **「熊本市における救急医療(仮)」**
奥本 克己 (熊本赤十字病院 救命救急センター長)
- シンポジストⅤ **「北九州市における救急医療の現状(仮)」**
木戸川 秀生 (北九州市立八幡病院 救命救急センター長)
- シンポジストⅥ **「「搬送困難事案への対処」に関する演題」**
松村 洋輔 (千葉県総合救急災害医療センター 救急診療部長・集中治療科部長)
- 指定発言 西山 慶 (新潟大学大学院医歯学総合研究科 救命救急医学分野 教授)
- 座長 公益社団法人全国自治体病院協議会 副会長
- 座長 公益社団法人全国自治体病院協議会 副会長



看護・看護教育分科会

テーマ

『原点から紡ぐ看護の多様性：受け入れ、活かす令和の看護』

新潟県立がんセンター新潟病院 院長
田中 洋史



数年来、新型コロナウイルス感染症の蔓延、戦争・騒乱、災害、気候変動、少子高齢化と人口減少など、社会全体にかかわる様々な事象が続いています。なかなか先を見越せず、私たち医療従事者も含め、誰もがなんともいえない“不安”を抱えて生きています。医療の現場では、テクノロジーが早いスピードで進化するとともに、将来を見据えた地域医療再編の議論も進んでいます。少し前までは当たり前であったことがそうでなくなり、多くの情報の波に押しつぶされるようなプレッシャーを感じることも少なくないように思います。

看護職の皆様は、そのような時代においても、健康の回復と増進、疾病予防、苦痛の緩和といった多くの重要な役割を担い、活躍してこられました。皆様の笑顔やお声がけ、活動は、患者さんやそのご家族だけでなく他の医療従事者にもたくさんの勇気を与え、希望の灯をともしています。

今後、持続可能な医療体制の構築にあたり、私たちが不安やプレッシャーを軽減し、自らを進化させつつ、日々の業務を担っていくためにまず必要なことは何でしょうか。それは、これまで私たちが培ってきた経験や知識を背景として、変わるものと変わらないことを冷静に見極めていくであると思います。新しい技術や知識を習得することも重要ですが、多くの情報から何を選択し、どのように身につけていくかにおいては、それまでの経験や知識が有用です。

今回、看護・看護教育分科会では、「原点から紡ぐ看護の多様性：受け入れ、活かす令和の看護」を全体テーマといたしました。今一度、看護の原点に立ち返って振り返り、そこから令和の看護の未来を改めて考えていこうという趣旨です。特別講演では井部俊子先生より看護の原点についてご講演をいただき、シンポジウムでは、三宅康史先生、渡邊綾香先生、田中瞳先生より、それぞれのご専門領域についてのご講演をいただきます。さらに一般演題セッションでは多様な分野でのポスター発表と対面でのディスカッションを予定しています。

参加者の皆様には、本分科会で得られた知識や議論の内容を持ち帰られ、それぞれの地域で令和の看護の灯をともしられることを期待しております。

1. 特別講演 [2024年10月31日(木)14:00～15:00]

演題	『看護の本質を問う』
演者	井部 俊子 (株式会社井部看護管理研究所 代表取締役)
座長	田中 洋史 (新潟県立がんセンター新潟病院 院長)
座長	長谷川 美津枝 (新潟県立がんセンター新潟病院 看護部長)

2. シンポジウム [2024年10月31日(木)15:00～17:00]

テーマ	『令和から未来へ、看護によるキョウソウの灯をともせ！～共奏、共創、競争～』
総合座長	五十嵐 健太郎 (見附市立病院 院長)
シンポジストⅠ	『重症患者への対応 ～多職種による共奏、共創、共送～』 三宅 康史 (帝京大学医学部附属病院高度救命救急センター長 教授)
座長	五十嵐 聡子 (新潟県立新発田病院 看護部長)
シンポジストⅡ	『“生きる”を、進化させる。コミュニティナーシングの可能性 (仮)』 渡邊 綾香 (株式会社CNC コミュニティナーサー)
座長	高橋 みはる (新潟大学地域医療教育センター 魚沼基幹病院 看護部長)
シンポジストⅢ	『看護教育の現場から学生と臨床とのかかわりや育成について (仮)』 田中 瞳 (新潟青陵大学看護学部・大学院看護学研究科 准教授)
座長	大島 紀子 (新潟市民病院 副院長兼看護部長)



テーマ

『臨床医学の新たな展開』

新潟県立十日町病院 副院長
清崎 浩一



地域医療における、医療の効率化と均てん化は地域における医療レベルを維持するために非常に重要な問題です。さらに2024年4月から医師の働き方改革の新制度が実施されるのに際し、いかに効率よくかつ医療レベルを維持するかが課題となってきます。今回はその様な時代の中、シンポジウムと特別講演を企画させていただきました。シンポジウムでは『地域医療におけるDXの活用』と題して、4人の演者の方々にご講演いただき、その後に総合討論を予定しています。また、特別講演では『医師の働き方改革 ～半年を経過して～』と題してご講演をいただく予定です。

今まさにホットな話題となっております。皆様、ぜひ会場に足をお運びいただき、さらに熱いセッションに盛り上げていただければ幸いです。

1. シンポジウム【2024年10月31日(木)14:00～16:00】

テーマ	『地域医療におけるDXの活用』
シンポジストI	『働き手に選ばれるための病院DX』 石川 賀代（社会医療法人石川記念会H I T O病院 理事長）
シンポジストII	『地域医療の現場でのDX活用 ～遠隔病理診断が地域をつなぐ～』 清崎 浩一（新潟県立十日町病院 副院長）
シンポジストIII	『医療情報ネットワークは地域医療の何を変えるのか』 小阪 真二（鳥根県立中央病院 病院長）
シンポジストIV	『未定』 新潟県福祉保健部地域医療政策課
座長	角道 祐一（新潟県立十日町病院 副院長）

2. 特別講演【2024年10月31日(木)16:15～17:00】

演題	『医師の働き方改革 ～半年を経過して～』
演者	谷口 健次（小牧市民病院 院長）
座長	清崎 浩一（新潟県立十日町病院 副院長）



臨床医学分科会（精神科領域）

テーマ

『依存と虐待における精神医学的アプローチ』

新潟県立精神医療センター 院長
細木 俊宏



精神科領域の2つの分科会はしばしば社会問題としても取り上げられている依存と虐待に関して「依存と虐待における精神医学的アプローチ」というテーマで開催いたします。

身体的な症状を訴え一般科を受診される患者さんのなかには、その際に初めて、背景に依存や虐待という問題を抱えていることが判明したり、精神医学的症状を呈しており、依存や虐待への精神医学的アプローチが必要になることがあります。また依存と虐待は相互に影響し合っており、依存症に苦しむ人々が虐待を引き起こしたり、また虐待を受けた人々は依存に陥る可能性が高かったり、依存と虐待の両方を抱える人々も多いといわれています。日常臨床において、依存や虐待の問題が潜んでいる可能性を考慮することは、これらの影響を最小限にし、効果的な予防や治療のために非常に重要と考えられます。

依存症は、生物学的、心理学的、社会的、文化的な多くの要因が複雑に絡み合い、発症に影響を与えることが示されています。依存症に苦しむ人々は、精神医学的症状だけでなく、しばしば身体的健康上の問題や心理・社会的問題を抱え、周囲の人々に影響を与えていることもあります。依存症が与える影響を軽減させ、問題を解決するために、依存症への理解は不可欠であると考えられます。

臨床医学分科会（精神科領域）では依存症治療の第一人者である国立病院機構さいがた医療センターの佐久間寛之先生に御講演いただきます。本特別講演を通して依存への理解を深め、改めて考える機会となれば幸いです。皆様のお越しをお待ちしております。

特別講演【2024年11月1日（金）8:30～10:00】

演 題	『うまく生きられないあなたへ - 依存症と愛着障害、逆境体験』
演 者	佐久間 寛之（独立行政法人国立病院機構さいがた医療センター 院長）
座 長	渡部 雄一郎（新潟大学地域医療教育センター・魚沼基幹病院 精神科 科長）



テーマ

『ポリファーマシー、multimorbidity時代に、 医薬品副作用をアセスメントする ～早期介入に灯をともし～』

JA新潟厚生連あがの市民病院 病院長
藤森 勝也



超高齢化社会を迎え、複数の病気や慢性的な症状（multimorbidity）を有する方が増加しています。有する1つ1つの疾患に投薬を行えば、自然に薬剤数は増加します。一方、高齢者では、各臓器の機能が低下してきており、肝・腎機能の低下がよくみられます。6種類以上の薬剤を用いると薬剤関連有害事象を招きやすいことが知られています。また5種類以上では、転倒しやすいと報告されています。複数の医療機関を受診している方も多く、薬剤の相互作用をチェックしにくいことも問題です。薬剤の全貌把握、治療優先順位の決定、有害事象発生の早期発見、薬物相互作用の判断、薬剤の有効か否かの評価などを行い、減薬や中止が必要になります。高齢者の潜在的不適切処方スクリーニングが大切です。

この分科会では、ポリファーマシー、multimorbidity時代の医薬品副作用の早期介入について理解を深め、会場全体でディスカッションできればと考えております。

1. 特別講演【2024年10月31日(木)14:00～14:50】

演 題	「薬の安全性の視点から取り組むポリファーマシー対策（仮）」
演 者	佐藤 光利（明治薬科大学 臨床薬学部門/医薬品安全性学 教授）
座 長	藤森 勝也（JA新潟厚生連あがの市民病院 病院長）

2. シンポジウム【2024年10月31日(木)15:00～17:00】

テーマ	「ポリファーマシー、multimorbidity時代に、医薬品副作用をアセスメントする」
シンポジストⅠ	「高齢者の医薬品適正使用対策について」 篠永 浩（三豊総合病院 薬剤部 副薬剤部長）
シンポジストⅡ	「ポリファーマシー時代に、医薬品副作用をアセスメントする（仮）」 齊藤 幹央（新潟薬科大学 臨床薬学教育研究センター 教授）
シンポジストⅢ	「中小病院における多面的なポリファーマシー対策」 山下 弘毅（新潟県立加茂病院 薬剤科長）
シンポジストⅣ	「多職種による危険回避・ポリファーマシー対策（仮）」 川崎 美紀（よしみず病院 薬剤部長）
座 長	田中 裕子（新潟市民病院 薬剤部長）
座 長	石井 貴之（JA新潟厚生連あがの市民病院 薬剤部長）



臨床検査分科会

テーマ

『移り行く時代に対応する臨床検査室を目指して』

新潟大学地域医療教育センター・魚沼基幹病院 病院長
鈴木 榮一



少子高齢化が加速する日本では地域医療連携は必要不可欠であり、各医療機関において施設の実情や地域の医療状況に応じて、医療機能の分担と専門化が進められています。新潟県内の医療施設の臨床検査室に向けて行ったアンケートより臨床検査技師の地域医療連携の現状や臨床検査技師の連携について報告していただきます。

特別講演Ⅰは、多様化する臨床検査分野で専門性の複数化を実践し、技師教育にも注力されている済生会熊本病院中央検査部（現・熊本保健科学大学 保健科学部 医学検査学科）富田文子先生よりご講演いただきます。

特別講演Ⅱは高度化、複雑化が進む医療現場に欠かせないリスクマネジメントについて順天堂大学 特任教授 久保野勝男先生にご講演いただきます。リスクマネジメントは改版された臨床検査室認定制度ISO 15189 第4版でも重点がおかれている分野です。

今回の分科会を通じて、移り行く時代に対応する臨床検査室の一助になれば幸いです。米どころ新潟で新米が採れる時期に皆様のお越しを心よりお待ちしております。

1. 報告発表【2024年11月1日（金）8:30～9:20】

テーマ	「新潟県内における臨床検査技師の地域医療連携」
発表者Ⅰ	「新潟県内における臨床検査技師の地域医療連携の現状－アンケート調査より－」 坂西 清（新潟大学地域医療教育センター・魚沼基幹病院 医療技術部 臨床検査科 副科長）
発表者Ⅱ	「十日町地域における臨床検査技師の地域医療への関わり」 城田 信子（新潟県立十日町病院 検査科 副技師長）
発表者Ⅲ	「市民病院がへき地医療検査センターになる－持続可能なへき地診療所検査体制の構築－」 吉田 和文（魚沼市立小出病院 検査科 検査科長）
発表者Ⅳ	「新潟県立病院臨床検査技師会における地域医療への関わり」 草間 孝行（新潟県立十日町病院 検査科 技師長）
座長	小池 朋子（新潟県立中央病院 臨床検査科 臨床検査技師長）
座長	渡辺 二美（新潟市民病院 医療技術部 臨床検査科 科長）

2. 特別講演Ⅰ【2024年11月1日（金）9:30～10:30】

演題	「拡がりを持った検査室を目指して～専門性の複数化～」
演者	富田 文子（済生会熊本病院 中央検査部（現・熊本保健科学大学 保健科学部 医学検査学科））
座長	筑波 聡（新潟県立新発田病院 臨床検査科 臨床検査技師長）

3. 特別講演Ⅱ【2024年11月1日（金）10:30～11:30】

演題	「リスクマネジメントを介したよりよい臨床検査室運営」
演者	久保野 勝男（順天堂大学 医療科学部臨床検査学科 特任教授）
座長	柴田 真由美（新潟大学地域医療教育センター・魚沼基幹病院 医療技術部 臨床検査科 科長）



テーマ

『時代の変化を捉え深化する放射線診療への挑戦』

新潟県立中央病院 院長
長谷川 正樹



いつも、放射線科のお世話になっている消化器外科の一員として、これからの放射線医療における進化と発展に寄与できるような分科会にするべく、本学会を盛り上げていきたいと思っております。

放射線診療の今後の発展として、まずは技術の進歩があげられます。新しい画像診断法や治療法が開発され、既存の技術にも改善が加えられています。より正確な診断と効果的な治療が可能となることは重要な要素といえます。

人工知能（Ai）の技術が取り入れられつつあり、画像の解析や診断支援において優れた性能を発揮することが期待されます。これにより医師の画像診断において、より効率的に精度を向上させることができれば、医師の働き方改革の一助にもなると考えます。

放射線治療においても、高精度放射線治療を中心に技術的進歩はめざましく、治療効果の向上や副作用の低減が期待できます。

テレラジオロジーの普及も言われています。遠隔地からの画像診断やカウンセリングを可能にする技術です。当院では時間外の救急外来と放射線診断医をつなぎ、休日・夜間の判断に迷う画像診断に対してのコンサルトを仰ぐことで、より正確で安全な医療提供が可能となっています。

放射線科医や技師の教育と研究の推進が新たな知識や技術の導入につながります。医療従事者が最新の情報にアクセスし、それを実践に結び付けることが分野全体の進歩を促進します。今学会、分科会がそのお役に立てればと考えております。多くの皆さんの参加をお待ちしております。

1. 特別講演Ⅰ【2024年10月31日(木)14:00～14:45】

演 題	「STAT画像報告の重要性」
演 者	船曳 知弘（藤田医科大学病院 救急科 教授／高度救命救急センター長）
座 長	成田 信浩（新潟市民病院 医療技術部 放射線技術科 科長）

2. 特別講演Ⅱ【2024年10月31日(木)15:00～15:45】

演 題	「体幹部定位放射線治療と治療後の画像変化について」
演 者	松本 康男（新潟県立がんセンター新潟病院 放射線治療科 部長）
座 長	山名 展子（新潟県立新発田病院 放射線科 部長）

3. 特別講演Ⅲ【2024年10月31日(木)16:00～16:45】

演 題	「画像診断の過去・現在・未来」
演 者	石川 浩志（新潟大学大学院医歯学総合研究科 放射線医学分野 教授）
座 長	古泉 直也（新潟県立がんセンター新潟病院 放射線診断科 部長）



栄養分科会

テーマ

『未来につなぐ栄養 ～それぞれのライフステージにおける栄養管理～』

新潟県立がんセンター新潟病院 副院長
中川 悟



世界中で持続可能な開発目標（SDGs）の取組が進められており、その達成には栄養改善の取組が不可欠であると言われている。SDGsの17目標のうち、栄養や健康の課題を対象とする2目標「目標2 飢餓をゼロに」と「目標3 すべての人に健康と福祉を」の達成は、他の15目標の達成に寄与し得ると考えられる。

「目標3 すべての人に健康と福祉を」に通じる「全ライフステージ」を対象とした栄養対策も進められている。人生におけるライフステージとしては、大きく小児期、成人期と老年期の3つに分けられる。それぞれのステージの課題に対する栄養対策が重要である。各ステージの栄養に対する取組は、今後の日本の未来を考察し、その未来像を実現する上でも避けては通れないものである。

栄養分科会では、「未来につなぐ栄養～それぞれのライフステージにおける栄養管理～」をテーマとし、特別講演Ⅰに新潟県立新発田病院の江村重仁先生に「小児期の栄養管理『小児期の食物アレルギー』」を、特別講演Ⅱに帯広病院精神科の大久保亮先生に「成人期の栄養管理『がんサバイバーのメンタルヘルスと栄養』」を、特別講演Ⅲに長崎大学大学院神経機能学分野 客員研究員の青山晋也先生に「老年期の栄養管理『時間栄養学をとりいれた高齢者の栄養管理』」をご講演いただくことになっております。

また、ポスターセッションには多くの方々の発表をお待ちしております。晩秋の新潟での開催になりますが、汗をかく程の活発な分科会になることを願っております。

1. 特別講演Ⅰ【2024年10月31日(木)14:00～15:00】

演 題	『小児期の栄養管理『小児期の食物アレルギーについて』』
演 者	江村 重仁（新潟県立新発田病院 小児科 部長）
座 長	小川 淳（新潟県立がんセンター新潟病院 小児科 小児科部長）

2. 特別講演Ⅱ【2024年10月31日(木)15:00～16:00】

演 題	『成人期の栄養管理『がんサバイバーのメンタルヘルスと栄養』』
演 者	大久保 亮（独立行政法人国立病院機構帯広病院 精神科 医長）
座 長	本間 英之（新潟県立がんセンター新潟病院 緩和ケア内科 臨床部長）

3. 特別講演Ⅲ【2024年10月31日(木)16:00～17:00】

演 題	『老年期の栄養管理『時間栄養学をとりいれた高齢者の栄養管理』』
演 者	青山 晋也（長崎大学大学院神経機能学分野 客員研究員）
座 長	中川 悟（新潟県立がんセンター新潟病院 消化器外科 副院長）



リハビリテーション分科会

テーマ

「住み慣れた地域で生活を続けたい」

～リハビリの共奏を実現するには～

上越地域医療センター病院 病院長

古賀 昭夫



病院には様々な理由、目的で患者さんが入院します。入院当日、家族に意向を伺うと、多くは自宅へ帰ってきてほしいと希望されます。ところがしばらくすると、「せめて自分でトイレに行けるようになってくれなきゃ困る」と雲行きが怪しくなってきます。一方で患者さん本人からは、「いつ退院できるのか、いつ家に帰れるのか」と連日するような眼で訴えられます。「もう家では看られないと家族が言っています」と伝えた瞬間、リハビリに対する意欲も無くなるのが明らかなため、本当の事情を伝えられずに先延ばしにする光景が今日も日本中の病院で繰り返されているのではないのでしょうか。

あるいはまた、新潟県のような地方では、車の運転が再びできるようになるかどうかで人生が大きく変わってきます。「もう運転は無理です」と伝えるときの重たい空気は何度経験しても慣れることはありません。

リハビリテーション分科会のテーマは

「住み慣れた地域で生活を続けたい」リハビリの共奏を実現するにはです。今も昔もありふれたテーマかもしれませんが、しかし患者さんたちにとっては実に切実な問題です。最適な解決策は簡単には見つからないでしょう。しかしひとりひとりの患者さんが本当に希望するゴールに向かって少しでも前進できるようにサポートする、有意義な議論ができればと願っています。

特別公演は経験豊富な整形外科医のお立場から運動器リハビリテーションについてお話を伺います。シンポジウムはリハビリの現場における問題点を総括しつつ、急性期、回復期、生活期それぞれのステージでご活躍されている方々から報告や提言をいただきます。

当日は魅力ある新潟県で皆さんとお会いできることを楽しみにしております。

1. 特別講演【2024年11月1日(金)8:30～9:30】

演 題	「運動器リハビリテーションにおける共奏」
演 者	仲村 一郎 (国立障害者リハビリテーションセンター病院 病院長)
座 長	石川 肇 (新潟県立リウマチセンター 院長)

2. シンポジウム【2024年11月1日(金)9:30～11:30】

テーマ	「住み慣れた地域で生活を続けたい」リハビリの共奏を実現するには
シンポジストⅠ	「脳卒中連携パスのICT化と地域で生活するための有効活用：急性期からの課題」 小澤 常德 (社会医療法人嵐陽会三之町病院 脳神経外科 病院長)
シンポジストⅡ	「地域で生活を続けたい：リハビリテーションの回復期を担う病院の共奏」 大竹 朗 (上越地域医療センター病院 リハビリテーションセンター 副リハビリテーションセンター長)
シンポジストⅢ	「維持期・生活期を支える地域における取組み」 児玉 康子 (十日町市役所 市民福祉部 地域ケア推進課 主査 理学療法士)
座 長	張替 徹 (社会医療法人新潟勤労者医療協会下越病院 リハビリテーション科 科長)
座 長	水越 真優美 (新潟県立リウマチセンター リハビリテーション科 技師長)



テーマ

『医療DXのために臨床工学技士が果たすべき役割』

新潟市病院事業管理者 新潟市民病院 病院長
大谷 哲也



新型コロナウイルス感染症は、日本のIT導入の遅れを露呈させました。行政におけるIT技術の遅れはパンデミックにおけるリアルタイムの患者数把握や診療材料支援のための情報収集などの遅延、ワクチン接種の混乱を招きました。政府は厚生労働省にデータヘルス改革推進本部を設置し、医療のすべての分野でIT化を進めることを公表しました。

臨床工学技士は、高度化した医療において医療機器などをマネジメントするエンジニアです。今後さらにITやAIを駆使して、医療現場における安全な医療機器の取り扱いを追求し、医療DXを推進させていく立場にあります。また、医療機器管理のみならず、ITやAIを利用した安全な医療機器の使用推進は医療安全にも寄与する可能性があります。さらにITを利用した院外医療機器の管理も可能な選択肢となってきました。

本学会の臨床工学士分科会のテーマは「医療DXのために臨床工学技士が果たすべき役割」とし、現在の医療機器管理のIT活用方法などを紹介していただくとともに、将来の展望についても議論していただきたいと思います。特別講演1は、赤澤宏平先生（新潟大学医歯学総合研究科 地域疾病制御医学専攻 教授）より「コンピューターネットワークの基礎とセキュリティ」と題して臨床工学技士が知らなくてはならないネットワーク構築についての基礎知識と問題点をご講演いただきます。特別講演2は、田村光希様（HITOTSU株式会社）より同テーマでご講演いただきます。デジタル化、ネットワーク化ではセキュリティの強化と問題点の把握は必須事項です。シンポジウムは「ここまできた医療機器管理システム（医療機器管理のIT利用について）」と題しました。医療機器のITを利用した管理の実情と将来の展望について各シンポジストより議論していただきたいと思います。

今回のテーマに関する議論が臨床工学技士の知識のブラッシュアップとなれば幸いです。本学会での活発な議論を祈念して私の挨拶とさせていただきます。

1. 特別講演Ⅰ【2024年11月1日(金)8:30～9:30】

演題	「コンピューターネットワークの基礎とセキュリティ」
演者	赤澤 宏平（新潟大学医歯学総合研究科 地域疾病制御医学専攻 教授）
座長	近藤 大介（新潟市民病院 副院長）

2. 特別講演Ⅱ【2024年11月1日(金)9:30～10:30】

演題	「医療DXのために臨床工学技士が果たすべき役割」
演者	田村 光希（HITOTSU株式会社 取締役会長・創業者）
座長	五十嵐 直大（新潟市民病院 臨床工学科 臨床工学技士 科長）

3. シンポジウム【2024年11月1日(金)10:30～11:30】

テーマ	「ここまできた医療機器管理システム（医療機器管理のIT利用について）」
シンポジストⅠ	「ZEROME導入による医療機器管理業務の評価」 菅原 幸治（青森県立中央病院 臨床工学部 主幹）
シンポジストⅡ	「岩手県立病院郡における医療機器管理システムの運用について」 菊池 雄一（岩手県立中央病院 臨床工学技術科 技師長）
シンポジストⅢ	「標準コードを用いて行なう管理の利点と展望」 臼杵 尚志（小豆島中央病院 外科 病院教授）
座長	岡崎 英輔（新潟県立新発田病院 臨床工学科 臨床工学技士長）



テーマ

『病院経営を支える事務部門の強化』

新潟県立新発田病院 院長
田中 典生



一口に事務部門と言いましても経営から運営、リスク管理、情報システム、診療情報管理、人材育成など多岐にわたっています。各部署においてそれぞれ独自にあるいは関連しながらプロフェッショナルリズムを発揮されていると思います。医療人材が不足する中、医師や看護師業務のタスクシフト/シェアが進められるとともに、事務的な業務は専門の事務部門に完全に任せられるような流れは必然と言えます。事務部門においては、事務長のリーダーシップのもと、多岐にわたる事務部門が連携して業務を遂行し、診療部門が安心して診療に集中できる環境が理想的といえます。その分、病院経営に係る事務部門の責任は重くなりますが、やりがいも増えるものと思います。事務部門がactiveで元気の良い病院は今後も発展していくでしょう。

さて、今回のシンポジウムⅠでは、そのようなactiveな事務長の代表である公立邑智病院副院長兼事務部長の日高武英氏を講師に「全員参加型の病院経営」をテーマに開催いたします。座長に全国自治体病院協議会副会長の望月泉先生を迎え、他に3名のコメンテーターをお願いいたしました。活発な討論が期待されます。また、シンポジウムⅡは、全国自治体病院協議会医療の質・医療安全指標の評価・公表等推進事業シンポジウムとして「臨床指標 ～より良い改善を求めて～」をテーマに開催いたします。多く方のご来場をお待ちしております。

1. シンポジウム【2024年10月31日(木)14:00～15:30】

テーマ	『全員参加型の病院経営』
演題	『全員参加型の病院経営に与える事務部門の調整能力』
演者	日高 武英 (邑智郡公立病院組合公立邑智病院 副院長兼事務部長/ 全国自治体病院協議会 中小病院の経営を考える事務プロジェクトチーム 委員長)
コメンテーターⅠ	関谷 浩行 (日本大学 商学部 教授)
コメンテーターⅡ	池戸 敦哉 (有限責任監査法人トーマツ/Deloitte Tohmatsu LLC ディレクター)
コメンテーターⅢ	日高 美晴 (公立邑智病院看護部 副看護部長(兼)診療看護師長)
座長	望月 泉 (八幡平市病院事業管理者 兼 八幡平市立病院 統括院長/ 公益社団法人全国自治体病院協議会 副会長)

2. 医療の質・医療安全指標の評価・公表等推進事業シンポジウム

【2024年10月31日(木)15:30～17:00】

演題	『臨床指標 ～より良い改善を求めて～』
シンポジストⅠ	『組織で取り組む医療の質向上』 岩渕 勝好 (山形市立病院済生館 呼吸器内科 科長/臨床指標評価検討委員会 副委員長)
シンポジストⅡ	『精神医療における医療の質と臨床指標』 北村 立 (石川県立こころの病院 病院長)
シンポジストⅢ	『活用できる活用される臨床指標とは”リハビリテーション病院の取り組みから考える”』 佐藤 ひふみ (神奈川リハビリテーション病院 診療管理部長)
座長	岡田 俊英 (石川県立中央病院 病院長/臨床指標評価検討委員会 委員長)
座長	長尾 眞理子 (埼玉県立精神医療センター 病院長/臨床指標評価検討委員会 副委員長)



地域医療・連携・福祉分科会

テーマ 「ともにつくる持続可能な地域医療システム」

－地域医療のSDGs－

一般財団法人魚沼市医療公社魚沼市立小出病院 院長
布施 克也



本分科会のテーマは「ともにつくる持続可能な地域医療システム」としました。SDGsになぞらえて2025年を目前に地域医療の持続可能性を展望できる分科会にしたいと思います。特別講演では厚生労働省の松本晴樹先生から、地域医療構想・地域包括ケア・地域共生社会がめざすゴールについて示唆をいただき、各現場で具体的なターゲットを描けるようにしていきたい。シンポジウムでは、“共創・協奏・競争”を各地で実践している具体的な処方箋を参加者で共有し、自治体病院が地域包括ケア連携に“灯をともし”取り組みを始めるときの一助としてもらいたい。分科会特別討論会として「地域医療の持続可能性に資する人材育成」に携わる医学教育・看護教育・福祉教育のリーダーに登壇いただき、現状と課題について意見を交わしていただく予定です。晩秋の新潟は過ごしやすく、おいしい食やお酒を楽しめます。ぜひ新潟にお越しいただき、ともにつくる地域医療について語り合いたいです。

1. 特別講演 I 【2024年11月1日(金)8:30～9:10】

演題	「地域医療構想を新潟県で考えた (2040年の地域医療をどう支えるか)」
演者	松本 晴樹 (厚生労働省医政局 地域医療計画課 医療安全推進・医務指導室 室長)
座長	鈴木 榮一 (新潟大学地域医療教育センター・魚沼基幹病院 病院長)

2. 特別講演 II 【2024年11月1日(金)9:15～9:50】

演題	「ICTを地域医療・連携に活かすのは誰だ? ～佐渡ヶ島の挑戦～」
演者	佐藤 賢治 (新潟県厚生連佐渡総合病院 病院長)
座長	石塚 修 (佐渡市立両津病院 院長)

3. シンポジウム I 【2024年11月1日(金)9:55～11:15】

テーマ	「自治体病院が灯をともし地域医療」
シンポジスト I	「遺骨が鳴らす警鐘 今なぜ行政の終活支援が必要なのか」 北見 万幸 (横須賀市終活支援センター 福祉専門官)
シンポジスト II	「この町で”暮らす”、そして”生ききる”に伴走する医療 ～4つの場面、医療と介護、そして病院と地域支援者と連携協働できていますか?～」 宇都宮 宏子 (在宅ケア移行支援研究所宇都宮宏子オフィス 代表)
シンポジスト III	「医師会が取り組む地域連携の姿とは ～行政や病院とタッグを組み行う医療と介護の連携～」 斎川 克之 (新潟市医師会 地域医療推進室 室長)
シンポジスト IV	「[データ駆動型] 地域医療連携を探る」 中尾 浩一 (社会福祉法人恩賜財団済生会熊本病院 院長)
座長	太田 求磨 (新潟県立柿崎病院 院長)

4. シンポジウム II 【2024年11月1日(金)11:20～12:30】

テーマ	「地域で包括ケア人材を育成する」
シンポジスト I	「地域包括ケア人材を育成する卒前教育」 岡崎 史子 (新潟大学医学部医学科 医学教育学分野担当 教授)
シンポジスト II	「医療機能の垣根を越えて“まもり・とどけ・つなぐ”看護職へ! ～京都府看護職連携キャリア支援事業開始の意図と経緯～」 秋山 智弥 (名古屋大学医学部附属病院 卒後臨床研修・キャリア形成支援センター 教授)
シンポジスト III	「ソーシャルワーク実践の視座で伴走型支援を充実させる ～MSWのポジショニング視点でオルタナティブな連携へ～」 坂詰 明広 (介護老人保健施設みずき苑 新潟県医療ソーシャルワーカー協会会長)
座長	重田 由美 (一般社団法人日本地域統合人材育成機構 理事長)
座長	井口 清太郎 (新潟大学大学院医歯学総合研究科 地域医療確保・地域医療課題解決支援講座 地域医療分野 特任教授)



テーマ

『依存と虐待における精神医学的アプローチ』



新潟県立精神医療センター 院長
細木 俊宏

精神科領域の2つの分科会はしばしば社会問題にもなっている依存と虐待に関して「依存と虐待における精神医学的アプローチ」というテーマで開催いたします。地域医療・連携・福祉分科会（精神科領域）では虐待に関するシンポジウムを開催いたします。

臨床の場面において、依存や虐待の問題が潜んでいる可能性を考慮することは、依存や虐待がもたらす影響を最小限にし、効果的な予防や治療のために非常に重要と考えられています。

虐待は、身体的、性的、経済的、または心理的な暴力やネグレクトを含む不適切な行動であり、その背景には多くの要因が関係しているといわれています。虐待を受けた人が他の人への虐待を行っていたり、虐待を行う人自身が過去に被虐待経験を持っていたりすることもあります。また既に精神疾患を抱えている人が虐待を受け、新たな精神医学的問題が出現していたり、虐待を行う人が依存や他の精神的な問題を抱えていたりすることもあります。これらの虐待の背景要因を把握することは、虐待の回避や苦しんでいる人々の回復を促す精神医学的アプローチのために不可欠と考えられます。

虐待については児童、高齢者、障害者虐待防止法により既に規定されていましたが、令和6年4月から精神保健福祉法改正が施行され、精神科病院における虐待防止措置と発見した際の通報が義務化されました。患者の権利擁護のためにも、虐待やその背景要因への理解を深め、問題意識を持ち、防止への配慮を行うことが必要と思われます。このシンポジウムによって児童、高齢者、精神障害者における虐待の現状と課題への理解が深まり、より有効な支援につながるように、多くの皆様方から参加いただき活発な意見交換の場となりますことを願っております。

シンポジウム【2024年11月1日(金)10:00～11:30】

テーマ	「虐待における精神医学的現状と課題－児童、高齢者、精神保健福祉の視点から」
シンポジストⅠ	「児童精神科における虐待臨床とトラウマ治療 ～新潟県、新潟大学医学部精神医学教室、カウンセリングオフィスVISIONの取り組み～」 杉本 篤言（新潟大学大学院医歯学総合研究科 特任准教授）
シンポジストⅡ	「高齢者虐待の予防と対応」 小長谷 百絵（新潟県立看護大学 教授）
シンポジストⅢ	「精神障がい者の虐待防止について－地域精神保健福祉の立場から－」 福島 昇（新潟市こころの健康センター 所長）
座長	細木 俊宏（新潟県立精神医療センター 院長）
座長	小林 和栄（新潟県立精神医療センター 看護部長）



中小病院委員会企画

テーマ

『未来に繋がる中小病院、これからの中小病院』

公立森町病院 院長
 全国自治体病院協議会 中小病院委員会 委員長
中村 昌樹



人々の平均寿命は延び、人生100年時代と言われるようになりました。そして、2025年には団塊の世代が後期高齢者となり、これからは多くの方が長い高齢期を過ごし、人生の最終段階を迎えることとなります。医学、医療の進歩の結果、救急現場における救命率も向上し、急性疾患はある程度予防することが可能となっています。しかしながら、今後圧倒的に増えてくるのが慢性疾患や加齢に伴って増加する様々な機能低下の問題です。生活の中でいかに継続的に医療を提供していくか、また機能低下に対してはいかに悪化させず現状を維持していくかも重要になります。今後は医療需要よりも、介護需要が圧倒的に増加すると予想されていますが、介護は医療のバックアップなくしては成り立ちません。これからの医療は、介護との連携も含め、生活者を支えるという視点が求められます。

働く世代の人口減少が進む中、医療従事者の確保も難しくなると同時に、医師の働き方改革も求められています。本来医師の働き方改革は、医療の質を高め、医療従事者にとっても患者さんにとっても有益なものでなくてはなりません。一方高齢者の救急搬送は毎年増え続けています。高齢者救急の現場では、単に救命だけでなく、個人の尊厳をいかに保つかも求められます。そして働き方改革の達成のためには、救急搬送などの突発的事態をいかに減らすかが鍵になります。そのためにも、かかりつけ医による日頃からの健康管理と患者の意思決定支援が重要となります。同時に、個人の価値観を支えるためにも、在宅医療を実現可能な選択肢として提示する必要があります。

コロナウイルス感染症のパンデミックは、各医療機関がいかに連携し、その機能に応じた役割をどのように果たすべきかなど、多くの課題を投げかけました。同時に医療機関だけでなく、行政や住民も巻き込んだ関係者間の協力体制が重要であることも明らかにしました。今年の能登半島地震のような災害医療の現場においても同様です。医療は、人々の生活を支えるための最も大切な安全保障の仕組みであることを思い知らされます。

今回、全国自治体病院協議会中小病院委員会でシンポジウムを担当することになりました。200床未満の病院を中小病院として一括りにしていますが、その中には50床以下の病院から190床以上の病院までが含まれます。かかりつけ機能や在宅医療の担い手、またそのバックアップ入院機能など、地域によってその役割は異なりますが、いずれの病院も職員の確保に苦勞する中、生活圏の医療を支えるために頑張っています。

国はこれまで地域医療構想と地域包括ケアシステム構築を進めてきました。自治体立中小病院は、行政や住民との連携がとりやすく、地域包括ケアシステムにおいて重要な役割を担います。そして、それをバックアップする高度急性期病院とどのような連携体制を構築するかが問われています。医療は、様々な役割が補完しあって成り立つシステムです。生活圏での医療が充実してこそ、高度急性期医療はその役割に特化することができ、その集約化も可能となります。高度急性期病院の立場からも中小病院の必要性を理解していただくとともに、様々な立場で地域医療に取り組んでいる中小病院の発表を通して、これからの未来につながる中小病院の役割を考える機会になれば幸いです。

1. 特別講演【2024年11月1日(金)8:30～9:30】

演 題	「これからの中小病院（仮）」
演 者	高橋 泰（国際医療福祉大学大学院 教授）
座 長	竹中 賢治（天草市病院事業管理者／中小病院委員会 担当副会長）

2. シンポジウム【2024年11月1日(金)9:40～11:30】

シンポジストⅠ	「未定」 中村 昌樹（公立森町病院 院長／中小病院委員会 委員長）
シンポジストⅡ	「未定」 長島 仁（土別市立病院 事業管理者・院長／中小病院委員会 委員）
シンポジストⅢ	「未定」 小橋 孝介（鴨川市立国保病院 院長）
座 長	全国自治体病院開設者協議会 役員
座 長	中村 昌樹（公立森町病院 院長／中小病院委員会 委員長）



県民公開講座

1. 総会特別講演Ⅰ（県民公開講座）【2024年11月1日（金）13:00～14:00】

演題	「ダンスが果たす使命」
演者	国友 慎之助（Dance Presentation UNITY 総合代表）
アトラクション	CHIBI UNITY
座長	吉嶺 文俊（新潟県立十日町病院 院長）

Dance Presentation UNITY 総合代表
国友 慎之助



「新潟から世界に」

文化芸術活動を通じて新潟県の魅力を発信するにいがたエンタメアンバサダーのダンスグループ「CHIBI UNITY（チビユニティー）」。

新潟から世界的な活躍を見せ、昨年9月に米国のNBCタレントオーディション番組「アメリカズ・ゴット・タレント」シーズン18に出場し、初戦のオーディションではゴールデンブザーを獲得され、圧巻のダンス・パフォーマンスで決勝に進出されました。

今回は、CHIBI UNITYの指導者であるDance Presentation UNITY 総合代表 国友慎之助氏から「ダンスが果たす使命」をテーマにご講演いただき、CHIBI UNITYからパフォーマンスしていただく貴重な機会となっています。

多数のご参加をお待ちしています。



県民公開講座

2. 総会特別講演Ⅱ（県民公開講座）【2024年11月1日（金）14:00～15:30】

演題	「次世代医療人の育成～22世紀に向けて～」
演者	下條 文武（新潟薬科大学 学長）
演者	西澤 正豊（新潟医療福祉大学 学長）
演者	牛木 辰男（新潟大学 学長）
司会	伊勢 みずほ（フリーアナウンサー・新潟薬科大学非常勤講師）
座長	井口 清太郎（新潟大学大学院医歯学総合研究科 地域医療確保・地域医療課題解決支援講座 地域医療分野 特任教授）
座長	上村 顕也（新潟大学医学部医学科総合診療学講座 教授）



学会参加登録

第62回全国自治体病院学会は当日皆様にスムーズにお越しいただけるよう事前参加登録をご用意しております。システムにて簡単にお申込ができるようになっております。学会当日の混雑を避けるためにできるだけ事前参加登録をご利用いただきますようお願い申し上げます。

1. 事前参加登録受付期間

2024年4月8日(月)～8月31日(土)



2. 参加登録費・申込区分

参加費ならびに参加申し込み区分

参加種別	事前登録	当日登録
期 間	4月8日(月)～8月31日(土)	10月31日(木)・11月1日(金)
種 別	一般(団体登録可能) P29参照	一般
学会参加費	12,000円(不課税) プログラム・抄録集代含む	13,000円(不課税) プログラム・抄録集代含む
交流会	6,000円(課税)	申込不可
ランチョンセミナー	申込可	申込不可
申込方法	HPからのオンライン登録	現地(朱鷺メッセ)
支払方法	銀行振込・コンビニ決済・クレジット	現金のみ
事前送付物	①参加証兼領収証 ②プログラム・抄録集 ③ランチョンセミナーチケット(申込の方のみ) ④交流会参加証(申込の方のみ)	なし
当日会場での受付	不要	申込書記入、参加費納入、参加証・領収証発行、プログラム・抄録集等受取

【団体登録について(一般)】

- ・同一病院・施設内の複数名分の学会参加・交流会のお申し込みをまとめて登録することができます。
- ・団体登録は、登録者の中から1名代表者(連絡担当者)を決定して代表者の方が登録してください。
ご参加されない方を代表者(連絡担当者)にすることはできませんのでご注意ください。
代表者(連絡担当者)を通じて一括登録、一括入金、ネームカード・抄録集等の一括発送をさせていただきます。
- ・団体登録の各個人宛への個別送付は対応いたしかねますのでご了承ください。個別に発送をご希望される場合は、個人登録をご利用ください。
- ・団体・個人での二重登録には十分ご注意ください。

【学生の参加について】

- ・学生（大学、看護・医療系専門学校の学生、初期研修医）の参加は無料です。
- ・学生の参加に当たっては、事前に学校単位での登録（団体登録）をお願いします。
団体登録は、1学校につき1名の教員を代表参加者としてお申し込みください。
教員の代表参加者は一般参加者と同様に有料となります。代表者参加者を通じて参加証の一括発送をさせていただきます。
- ・学生が個人で参加される場合は、当日登録のみとなります。
- ・プログラム・抄録集が必要な方は、学会当日会場にて2,000円で販売いたします。
- ・学生は、ランチョンセミナー、交流会の参加申込はできません。
- ・代表参加者はランチョンセミナーへの参加、また、交流会についても、一般参加者と同様6,000円でご参加いただけます。

3. 交流会参加費 6,000円（要事前参加登録）課税

日時：1日目 2024年10月31日（木）18：00～20：00（予定）

会場：朱鷺メッセ 新潟コンベンションセンター 展示ホールB
〒950-0078 新潟県新潟市中央区万代島6-1
TEL：025-246-8400

※定員により申し込みを締め切らせていただく場合がございますので予めご了承ください。

※交流会参加証をお持ちでない方は、会場にお入りいただけません。

4. 参加申込方法

事前参加登録は、インターネットにてオンライン登録をお願い致します。

申し込みURL <https://amarys-jtb.jp/jmha62/>



- ・受付開始、締切日はアクセスが集中し、登録に支障をきたすことが考えられますので、余裕を持ってご登録ください。
- ・参加者自身が間違えて入力した内容につきましては、事務局では一切責任を負いません。登録ボタンを押す前に、必ず内容に間違いがないかどうかをご確認ください。

5. 参加分科会区分

お申し込みの際には、参加を予定する分科会名を以下より1つご選択ください。

※該当する分科会が複数ある場合も、以下より1つご選択ください。

- | | | |
|-----------------|-----------|------------|
| A：看護・看護教育分科会 | B：臨床医学分科会 | C：薬剤分科会 |
| D：臨床検査分科会 | E：放射線分科会 | F：栄養分科会 |
| G：リハビリテーション分科会 | H：臨床工学分科会 | I：経営・管理分科会 |
| J：地域医療・連携・福祉分科会 | | |



6. お申し込みの流れ

【事前参加登録】

- (1) 本学会ホームページの「参加登録」から案内に従ってご登録ください。
- (2) 事前参加登録完了後、登録内容が登録されたメールアドレスに配信されます。(個人情報設定で各確認メール配信を通知しない設定にした場合は配信されませんのでご注意ください。)

・返信がない場合

- 1) メールアドレスの誤入力と考えられます。
- 2) 迷惑メール等のフォルダーに入っていないかもご確認ください。*ご自身のPCの設定をご確認ください。
- 3) 上記を確認して24時間経過しても届かない場合は、オフィシャル・トラベルエージェント (P.4) までご連絡ください。

- ・他者と同じE-mailアドレスの使用はおやめください。
- ・携帯アドレスもご利用しないでください。

- (3) 申込内容変更・取消について

受付締切日 (8月31日) まではWEB上で変更できます。ご自身で操作してください。

- (4) お支払方法

銀行振込・コンビニ支払・クレジットカード払いからお選びいただけます。

詳しくは学会ホームページにてご確認ください。

振込期限：2024年9月10日 (火)

ご登録は、ご入金の確認をもって完了となります。

期日までにご入金を確認できない場合、事前参加登録が取消となり、当日登録をしていただくことになりますので、ご注意ください。

※お振込みはご登録後なるべくお早めをお願いいたします。

- (5) 請求書

請求書はWEB上で発行できますのでご自身で操作してください。

事務局では請求書の発行はいたしません。

- (6) 送付物

事前参加登録をされた方には、入金確認後、10月上旬 (予定) に申込者 (代表者) 宛に以下の物をご送付いたします。

- ①参加証兼領収証
- ②プログラム・抄録集
- ③ランチョンセミナーチケット (※お申込みいただいた方のみ)
- ④交流会参加証 (※お申し込みいただいた方のみ)

【当日参加登録】

朱鷺メッセ 新潟コンベンションセンター2階受付前に設置しております申込書に予め必要事項をご記入の上、受付にてお手続きください。

参加費のお支払いは、現金のみにて受け付けております。

7. 取消料について

お申し込み後、止むを得ずご参加を取り消しされる場合には、下記の取消料を申し受けます。

受付締切日（8月31日）まではWEB上で変更できます。ご自身で操作してください。

※お電話およびFAXでの変更・取消は、受け付けいたしません。

取消期間	学会参加費	交流会参加費	備考
2024年8月31日まで	取消料なし	取消料なし	プログラム・抄録集等は送付しません
2024年9月1日以降	参加費全額	参加費全額	プログラム・抄録集等は送付します

8. ランチョンセミナーについて

フードロス削減のためランチョンセミナーの事前申し込みを行います。

詳細はランチョンセミナープログラム決定後、本学会ホームページにてご案内します。

※参加登録完了後もお申し込みいただけます。

※人数に限りがございますので定員に達した場合は締め切らせていただきます。



9. 託児所について

本学会では託児所の用意はございません。

10. 路線バス増便について

学会の開始、終了時間に合わせて路線バスの増便を運行致します。（予定）

また、初日、最終日は新潟空港 ⇄ 朱鷺メッセの直行シャトルバスを運行の予定です。

11. 参加登録・お問合せ

株式会社JTB新潟支店

「第62回全国自治体病院学会in新潟」受付デスク

〒950-0082 新潟市中央区東万代町1-30 新潟第一生命ビルディング3階

TEL：025-255-5101 FAX：025-248-7687

E-mail：niigata_ec@jtb.com

〈お問合せ受付時間〉月曜～金曜 9：30～17：30（土日祝は休業）



演題発表申し込み（一般演題）

一般演題（ポスターセッション）を公募いたします。多数の皆様の申し込みをお待ちしております。

演題募集期間

2024年4月8日（月）～6月14日（金）

1. 発表形式

ポスター発表（発表5分、質疑応答2分）

本学会では、一般演題はすべて「紙ポスター」での発表となります。

会場では、紙ポスターを閲覧用として掲示していただき、発表、質疑応答を行います。

ポスターは2日間通して掲示いただきます。貼り替えはありません。

※詳しくは、本学会ホームページをご参照ください。

2. 演題発表申し込み方法

・演題発表申し込みはすべてオンライン演題登録にて受け付けます。

登録された演題は、演題発表申し込み締切日までオンライン上で修正、削除することができます。

申し込みURL <https://shinsen-mc.co.jp/jmha62/endai.html>



【注意事項】

- 1) 演題発表申し込みをされる方は、必ず事前参加登録申し込みをしてください。
- 2) 締切当日はアクセスが集中し、登録に支障をきたすことが考えられますので、余裕を持ってご登録ください。
- 3) 応募者自身が間違えて入力した内容につきましては、事務局では一切責任を負いません。
登録ボタンを押す前に、内容に間違いがないかをご確認ください。
- 4) 演題の採択、および発表分科会等の決定は学会長に一任願います。
ご希望に沿えない場合もございますが、ご了承ください。

【重要】

Webメール（Gmail・Yahoo mail 等）でご登録を予定してる方へ

連絡先メールアドレスに Gmail・Yahoo mail 等の Webメールを登録されている場合、スパムメールと認識され、一部、登録完了メール、採択通知メールが届かない事例が多く発生しております。

Gmail・Yahoo mail 以外のメールアドレスにてご登録いただくか、登録完了後は確認・修正画面よりログインいただき、演題の登録が行われていることをご確認ください。

登録完了メールが届かない場合は、「確認・修正画面」よりログインいただき、演題の登録が行われていることをご確認ください

【優秀演題、最優秀演題について】

応募いただいた演題から優秀演題を選考いたします。

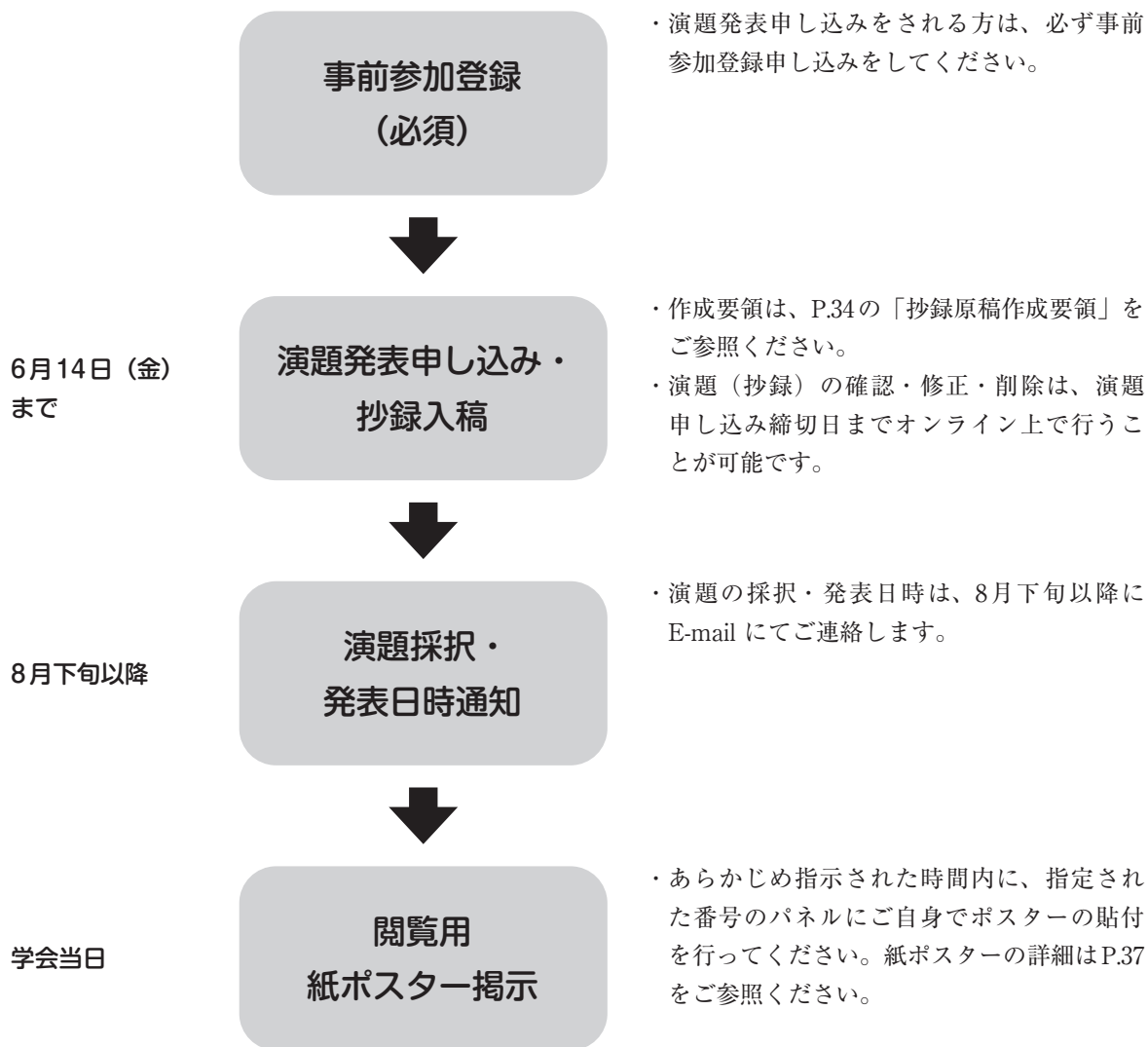
優秀演題の中から最優秀者数名を次期学会の席上で表彰いたします。また、次期学会において演題を発表していただきます。奮ってご応募ください。

■ 優秀演題選考基準

- ・病院あるいは地域医療に対する貢献度が高いと認められるもの
- ・創意工夫が認められるもの
- ・学問的に優れていると認められるもの
- ・口演（態度、発声、時間の使い方、ポスターなど）が優れているもの

3. 演題発表申し込みから発表当日までの流れ

※ポスターセッションについては、P.36にも記載しておりますので、ご参照ください。
 ※最新情報は、本学会ホームページに掲載いたします。



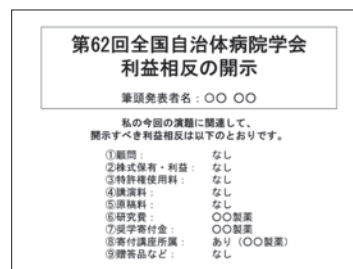
演題発表時における利益相反（COI）の開示について

- ・ポスター発表の筆頭演者は、演題発表時に発表演題に関係する企業などとのCOI状態の開示が必要です。利益相反の有無についてご用意の上、掲示用ポスターパネル上に開示してください。
- ・COI掲示の様式例はホームページよりダウンロードしご利用ください。

例1) 開示すべき事項がない場合のCOI開示例



例2) 開示すべき事項がある場合のCOI開示例





演題発表申し込み（一般演題）

4. 抄録原稿作成要領

(1) 発表希望分科会

発表希望分科会を以下から選択してください。

A：看護・看護教育分科会

A-1 急性期看護	A-2 がん看護	A-3 救急看護
A-4 災害看護	A-5 看護管理	A-6 情報管理
A-7 外来看護	A-8 認知症看護	A-9 精神看護
A-10 在宅看護	A-11 小児看護	A-12 母性看護
A-13 慢性期看護	A-14 看護教育	A-15 看護業務改善
A-16 感染管理	A-17 医療安全	A-18 チーム医療
A-19 看護倫理		

B：臨床医学分科会

B-1 感染症	B-2 専門医制度	B-3 医師の働き方改革
B-4 医療安全・医療の質	B-5 医療連携(地域連携・チーム医療)	B-6 災害時医療
B-7 医療とDX	B-8 自由演題	

C：薬剤分科会

C-1 医薬品調整	C-2 医薬品管理	C-3 医薬品情報
C-4 医療安全	C-5 薬物治療	C-6 がん化学療法
C-7 抗菌化学療法・感染制御	C-8 精神科領域	C-9 チーム医療
C-10 薬剤管理指導	C-11 病棟薬剤業務	C-12 医療経済
C-13 薬薬連携	C-14 教育研究	C-15 治験・臨床試験
C-16 経営	C-17 その他	

D：臨床検査分科会

D-1 管理・運営	D-2 輸血	D-3 免疫
D-4 生化学	D-5 血液	D-6 一般
D-7 病理	D-8 細胞診	D-9 微生物
D-10 生理	D-11 チーム医療	D-12 その他

E：放射線分科会

E-1 X線検査	E-2 CT検査	E-3 MRI検査
E-4 血管撮影	E-5 核医学検査	E-6 放射線治療
E-7 放射線管理	E-8 医療情報管理	E-9 その他

F：栄養分科会

F-1 病態別栄養管理	F-2 がん・緩和	F-3 摂食・嚥下障害
F-4 周術期栄養管理	F-5 早期栄養介入	F-6 リハ栄養
F-7 栄養食事指導	F-8 災害時栄養管理	F-9 COVID19
F-10 地域連携・在宅	F-11 チーム医療	F-12 給食管理
F-13 その他		

G：リハビリテーション分科会

G-1 管理・運営	G-2 調査・統計	G-3 高次脳機能障害
G-4 神経系疾患	G-5 内部障害	G-6 骨関節系疾患
G-7 がんリハビリ	G-8 摂食・嚥下	G-9 生活環境支援
G-10 小児リハビリ	G-11 地域リハビリ	G-12 ロボットリハビリ
G-13 その他		

H：臨床工学分科会

H-1 呼吸	H-2 循環	H-3 代謝
H-4 医療機器管理	H-5 手術	H-6 その他

I：経営・管理分科会

I-1 病院経営	I-2 運営管理	I-3 情報システム
I-4 診療情報管理	I-5 リスクマネジメント	I-6 医療の質管理
I-7 患者サービス	I-8 人材確保・育成	I-9 その他

J：地域医療・連携・福祉分科会

J-1 入退院支援・入退院調整	J-2 地域医療ネットワーク(ヒューマン)	J-3 地域医療ネットワークシステム(ICT)
J-4 がん相談・支援	J-5 地域包括ケア・在宅医療	J-6 地域・住民との連携
J-7 ソーシャルワーク実践	J-8 チーム医療	J-9 その他

- (2) 共同研究者はスペースの関係上、最大9名（演題発表者を含む）としてください。
- (3) 共同研究者の所属が異なる場合は、原則として合計で最大5施設としてください。
- (4) 演題名は全角60文字以内で簡潔にまとめて作成してください。なお、英数字は半角2文字を全角1文字と換算いたします。
- (5) 抄録本文は全角1,000文字以内とし、内容は【目的】、【方法】、【結果】、【結論】の順に必ず項目を立てて記述してください。なお、英数字は半角2文字を全角1文字と換算いたします。
図表をご登録する場合は抄録本文の文字数は670文字以内となりますので、ご注意ください。
- (6) 抄録本文作成上の注意
 - ・抄録本文は、最初にご自身のPCのソフトで作成し、コピー機能を使って貼り付けされることをお勧めします。
 - ・先頭行も1マスあけずに左詰めで記入してください。

5. お問い合わせ

株式会社シンセンメディカルコミュニケーションズ内
〒950-0983 新潟市中央区神道寺1-6-14
TEL：025-278-7232 FAX：025-278-7285
E-mail：jmha62@shinsen-mc.co.jp
〈お問合せ受付時間〉9：30～17：30（土・日・祝祭日休業）



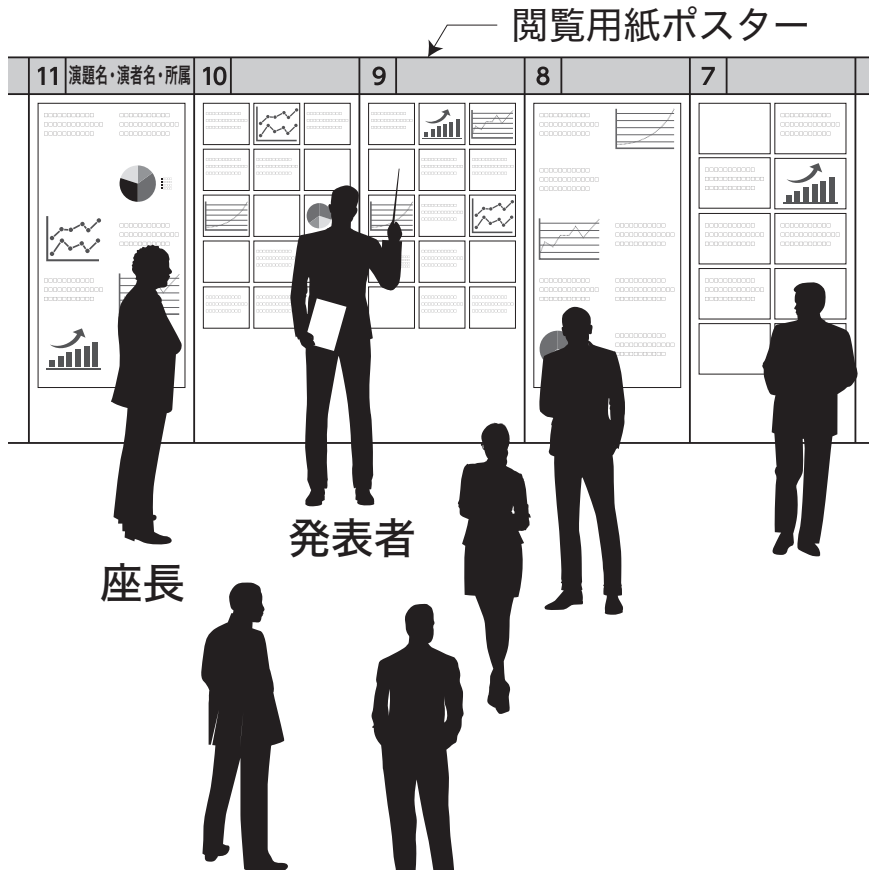
ポスターセッションについて

1. 発表形式について

ポスター発表（発表5分、質疑応答2分）

発表者は会期中、会場内のご自身のポスターに所定の時間帯にお立ちいただき、発表・質疑応答を行います。

ポスターセッション閲覧イメージ（ポスターは2日間通して掲示。貼り替えはありません。）



本学会ではポスターの印刷から貼り付け、撤去まで行う「手荷物いらずパック」サービスをご用意いたしました。（有料）

サービスのご利用をご検討の場合、学会ホームページで詳細をご確認いただきますようお願い申し上げます。



ポスター発表される先生方へ

ポスター印刷代行

手荷物いらずパック



会場に貼ります！

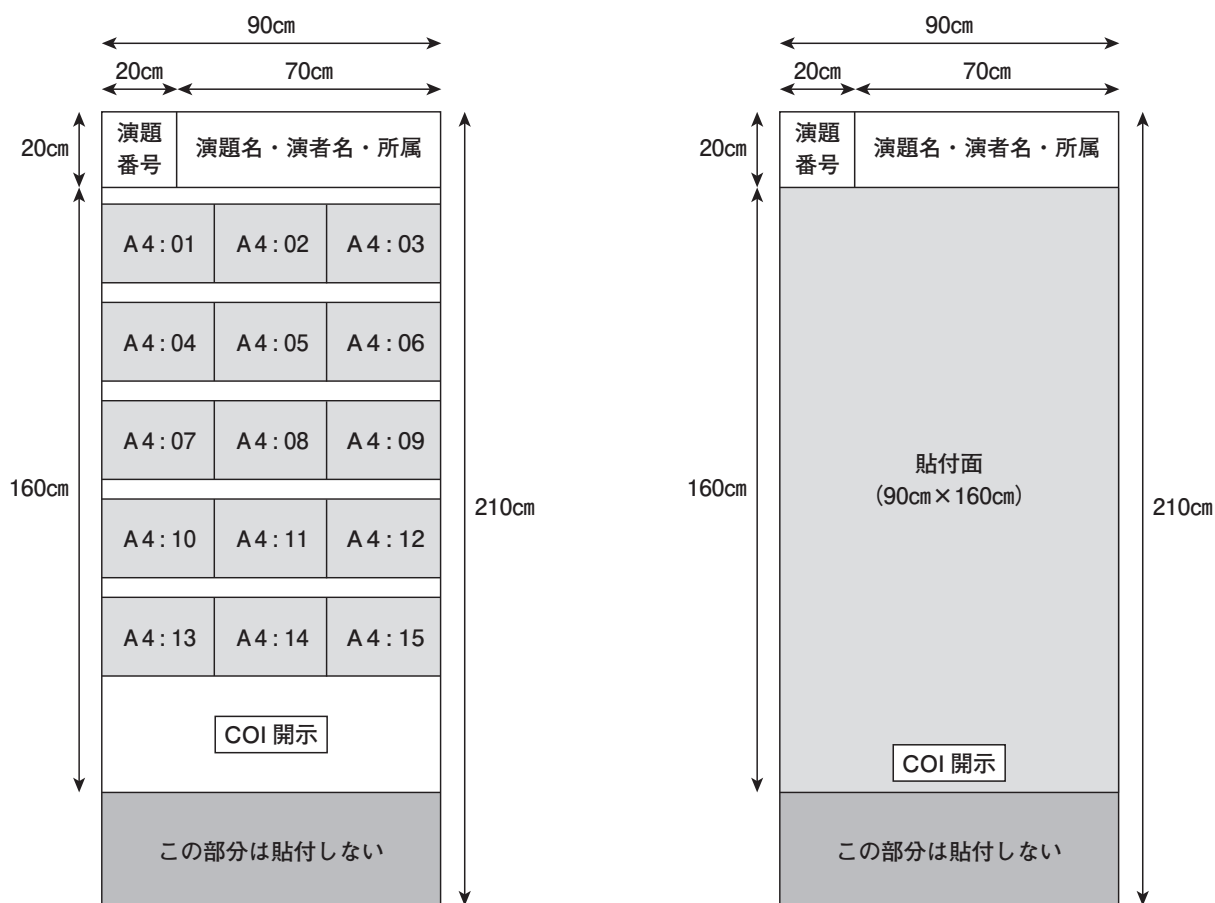
当日は手荷物いらずでOK！

撤去も行います！

2. 閲覧用 紙ポスターについて

- ・演題ごとに下記のような大きさのパネルを用意いたします。あらかじめ指定時間内に、指定された演題番号のパネルにご自身で紙ポスターの貼付を行ってください。
- *ポスターは2日間通して掲示していただきます。貼り替えはありません。また、撤去時間以降に残っているポスター等は、事務局にて処分いたしますので、予めご了承ください。

紙ポスターパネルイメージ



- ・パネル左上の演題番号は、事務局で用意いたしますので、その右側に演題名・演者名・所属を表示してください。
- ・紙ポスターは横90cm×縦160cmで作成してください。A3で作成の場合は10枚、A4で作成の場合は15枚程度となります。
- ※ポスターパネルの詳細については、学会ホームページをご参照ください。



第62回全国自治体病院学会 宿泊のご案内

この度「第62回全国自治体病院学会」にご参加されます皆様方のご宿泊の予約を、JTB新潟支店にて受付させていただきます。

つきましては、下記のご案内をご一読いただき、お申込みくださいますようお願いいたします。

本学会に参加されます皆様方のお申し込みをお待ちしております。

1. 宿泊申込期間

2024年4月8日(月)～8月31日(土)



2. 宿泊のご案内

宿泊期間 2024年10月30日(水)・31日(木)・11月1日(金)

旅行代金 1泊朝食付(税金・サービス料込)のおひとり様あたりの金額です。

No	宿泊ホテル名	宿泊料金/部屋タイプ		
		シングル	ツイン(2名利用)	ツイン(1名利用)
①	新潟グランドホテル	12,500円	11,500円	14,000円
②	万代シルバーホテル	10,500円	9,500円	14,000円
③	ホテルサンルート新潟	10,000円	9,000円	14,000円
④	ホテルディアモント新潟	9,000円	—	—
⑤	アートホテル新潟駅前	10,500円	9,000円	13,000円
⑥	アパホテル&リゾート新潟駅前大通	10,000円	—	—
⑦	新潟第一ホテル	10,500円	—	—
⑧	新潟東映ホテル	9,000円	8,000円	12,000円
⑨	ターミナルアートイン	8,500円	—	—
⑩	ホテルターミナルイン	8,500円	—	—
⑪	コートホテル新潟	9,500円	—	—
⑫	ニイガタステーションホテル	10,500円	—	—
⑬	ホテルメッツ新潟	13,500円	—	—
⑭	コンフォートホテル新潟駅前	8,500円	—	—

※本プランは当社との募集型企画旅行契約となります。

※最少催行人員：1名 ※添乗員：同行致しません。

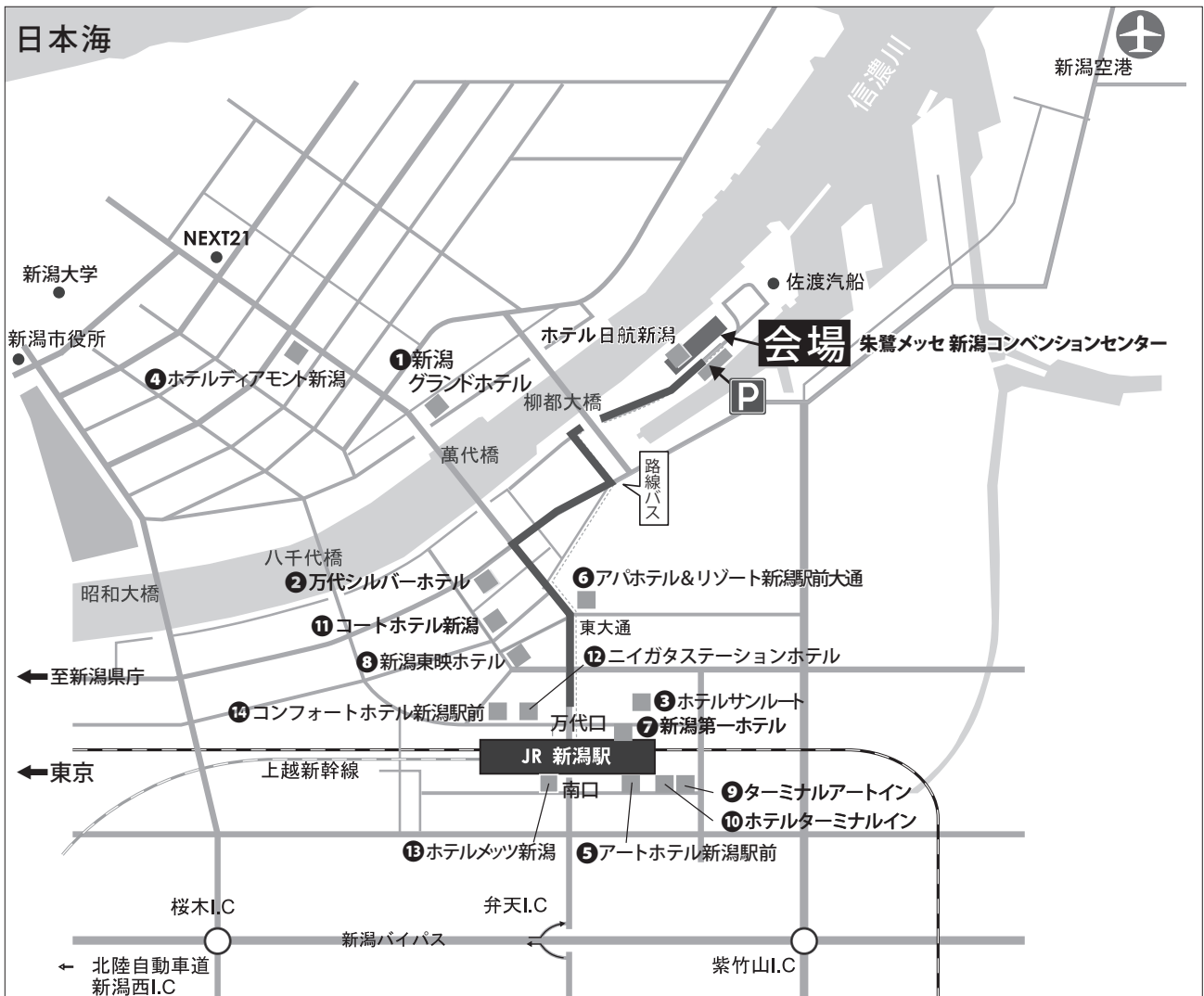
(旅行サービスを受けるために必要な確認書類をお渡し致しますので、手続きはお客様ご自身で行っていただきます。)

●宿泊プランの行程

日次	行程(往復の交通費は含まれておりません)	食事条件	宿泊地
1日目	自宅または前泊または各地 → (各自移動・交通費はお客様負担) → 各宿泊施設	朝× 昼× 夕×	新潟市内
2日目	各宿泊施設 → (各自移動・交通費はお客様負担) → 自宅または後泊または各地	朝○ 昼× 夕×	新潟市内

ホテル予約マップ

地図中の①～⑭が下記よりご予約いただけます。今後追加になる場合はホームページでご案内します。



3. 宿泊申込方法

宿泊申込は、インターネットにてオンライン登録をお願いいたします。

申し込みURL <https://amarys-jtb.jp/jmha62/>



4. 取消料

ご参加者様の都合により、宿泊をお取消される場合は、下記の取消料を申し受けます。

取消日（旅行開始日の前日から起算して）	取消料
1) 8日前まで	無料
2) 7日前～2日目（3～5を除く）	宿泊代金の20%
3) 旅行開始日前日（4～5を除く）	宿泊代金の40%
4) 旅行開始日当日（旅行開始前）（5を除く）	宿泊代金の50%
5) 旅行開始後または無連絡不参加	宿泊代金の100%

5. 宿泊予約お問合せ

株式会社JTB新潟支店
 〒950-0082 新潟市中央区東万代町1-30
 新潟第一生命ビル3F
 「第62回全国自治体病院学会」係
 TEL：025-255-5101 FAX：025-248-7687
 E-mail：niigata_ec@jtb.com
 営業時間：9:30～17:30（土・日・祝日休業）
 総合旅行業務取扱管理者：野々部 研史
 担当：後藤・中安



エクスカーションのご案内

第62回全国自治体病院学会専用のエクスカーションをご用意させていただきました。いずれも、新潟の魅力をご堪能いただける本学会特別ツアーとなっております。皆様のお申込みお待ちしております。なお、お申込みは、学会ホームページからお願いいたします。

※今後、訪問施設の受け入れ状況などにより行程が変更になる場合がございます。最新情報はホームページをご確認ください。



申込期間

2024年4月8日(月)～8月31日(土)

A: 11月1日午後発/日帰りにいがた酒巡りツアー! ～お土産付き～

旅行期日	11月1日(金)
旅行代金	4,800円(税込)
募集人員	40名<最小催行人員30名>
添乗員	同行いたします。
費用に含まれるもの	バス代、見学科、添乗員費用、乗務員費用
費用に含まれないもの	飲食代など個人的な費用



行程

月日曜	行 程				食事	
11/1 (金)	朱鷺メッセ 13:30	※ガイド付き見学と お土産付きプラン 峰村醸造 13:40 14:10	※ガイド付き見学 今代司酒造 14:15 15:00	※見学のみ 沼垂ビール 15:05 15:35	新潟駅 15:40	朝：－ 昼：－ 夕：－

峰村醸造



今代司酒造



B：11月1日午後発／^{しばた}新発田の宝2023年4月移籍・公開 ^{ぞうしゅんかく}『蔵春閣』 ツアー！

旅行期日	11月1日（金）
旅行代金	7,500円（税込）
募集人員	40名〈最小催行人員30名〉
添乗員	同行いたします。
費用に含まれるもの	バス代、有料道路代、見学科、添乗員費用、乗務員費用
費用に含まれないもの	飲食代など個人的な費用

行程

月日曜	行程	食事
11/1 （金）	<p style="text-align: center;"> ※ガイド付き酒造見学 ※見学のみ </p> <p style="text-align: center;"> 朱鷺メッセ 酒造リゾート五階菱 蔵春閣 新潟空港 新潟駅 </p> <p style="text-align: center;"> 13:30 14:10 14:40 14:45 15:15 15:45 15:55 16:30 </p> <p style="text-align: center;"> 帰路は新潟空港・新潟駅へ送迎 </p> <p>※蔵春閣…新発田市が生んだ大実業家大蔵喜八郎が建設し、渋沢栄一をはじめ政財界の大物をもてなした迎賓館。</p>	<p>朝：－</p> <p>昼：－</p> <p>夕：－</p>

エクスカージョンのご案内

蔵春閣



酒造リゾート五階菱





エクスカーションのご案内

C：11月1日午後発／1泊2日大地の芸術祭巡りツアー！

- 旅行期日 11月1日（金）～11月2日（土）
- 旅行代金 2名1室 42,000円（税込）
3名1室 38,700円（税込）
4名1室 38,700円（税込）
5名1室 37,600円（税込）
- 募集人員 40名〈最小催行人員30名〉
- 添乗員 同行いたします。
- 費用に含まれるもの 宿泊代（1泊2食付き）、2日目の昼食代、バス代、有料道路代、見学科、添乗員費用、乗務員費用
- 費用に含まれないもの 飲食代など個人的な費用、越後湯沢駅以降の交通費

行程

月日曜	行 程	食事
11/1 (金)	朱鷺メッセ ===== 十日町市内（泊） 15:00 17:30【夕食：ホテル】 宿泊地 【あてま高原リゾートベルナティオ】	朝：－ 昼：－ 夕：○
11/2 (土)	<div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;"> ホテル 9:15 </div> <div style="text-align: center;"> ※見学のみのみ 越後妻有里山現代美術館 9:45 10:40 </div> <div style="text-align: center;"> ※見学&食事 農舞台（越後まつだい里山食堂） 11:10 【昼食】 13:00 </div> </div> <div style="margin-top: 20px; text-align: center;"> ※見学のみのみ 清津峡 ===== 越後湯沢駅 13:40 15:00 15:30 </div> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; margin-top: 20px; text-align: center;"> 【お帰りの新幹線のご案内】（予定） 越後湯沢駅—東京駅 16:25—17:40 16:03—17:28 </div>	朝：○ 昼：○ 夕：－

清津峡



あてま高原リゾートベルナティオ



越後妻有里山現代美術館 MonET (モネ)



GSK



3成分配合 喘息・COPD治療剤 薬価基準収載

処方箋医薬品(注意-医師等の処方箋により使用すること)

テリルジー 100エリプタ
14・30吸入用

TRELEGY ELLIPTA

フルチカゾンフランカルボン酸エステル・
ウメクリジニウム臭化物・ピランテロール
トリフェニル酢酸塩ドライパウダーインヘラー



3成分配合 喘息治療剤 薬価基準収載

処方箋医薬品(注意-医師等の処方箋により使用すること)

テリルジー 200エリプタ
14・30吸入用

TRELEGY ELLIPTA

フルチカゾンフランカルボン酸エステル・
ウメクリジニウム臭化物・ピランテロール
トリフェニル酢酸塩ドライパウダーインヘラー

※「効能又は効果」、「用法及び用量」、「禁忌を含む注意事項等情報」等については電子添文をご参照ください。

専用アプリ「添文ナビ」で
GS1バーコードを読み取ることで、
最新の電子添文等を閲覧できます。(01)14987246783023
(テリルジー100エリプタ14・30吸入用、
テリルジー200エリプタ14・30吸入用)

製造販売元
グラクソ・スミスクライン株式会社
〒107-0052 東京都港区赤坂1-8-1

文献請求先及び問い合わせ先
TEL: 0120-561-007 (9:00~17:45/土日祝日及び当社休業日を除く)
FAX: 0120-561-047 (24時間受付)

PM-JP-FVU-ADVT-210001
改訂年月2023年9月(MK)

Niigata Grand Hotel

新潟グランドホテル



最幸のおもてなしで、お客様の滞在時間をサポートいたします

日本一の大河【信濃川】×国指定重要文化財【萬代橋】
“新潟の象徴”を同時に楽しめる抜群のロケーション

Guest Room

- <個室Wi-Fi 完備> ビジネスにも、レジャーにも◎
- 快適な環境を提供する個別空調
- 全室設置の多機能TVでミラーリングやYouTube動画も楽しめる！



ゆったり♪たっぷり♪

Breakfast にいがた朝ごはん

新潟らしさにこだわった
新潟グランドホテルの新潟朝ごはん

※洋定食・和定食からお選びいただけます。

洋定食

ニイガタ“ビタミンカラー”プレート

和定食

“なまらうんめえ”新潟朝ごはん



新潟グランドホテル

宿泊予約

☎ 025-228-6112

〒951-8052 新潟県新潟市中央区下大川前通3ノ町2230番地

✉ front@ni-grand.co.jp URL: <https://www.ni-grand.co.jp>

公式ホームページ
はこちら



Kyorin 

ニューキノロン系経口抗菌剤

薬価基準収載

処方箋医薬品[※]
ラスクフロキサシン塩酸塩錠



ラスビック[®]錠 75mg

Lasvic[®] Tablets 75mg

略号:LSFX

注)注意—医師等の処方箋により使用すること

ニューキノロン系注射用抗菌剤

薬価基準収載

劇薬、処方箋医薬品[※]
ラスクフロキサシン塩酸塩注射液



**ラスビック[®]点滴静注 150mg
キット**

Lasvic[®] Intravenous Drip Infusion Kit 150mg

略号:LSFX

注)注意—医師等の処方箋により使用すること

効能又は効果、用法及び用量、禁忌を含む注意事項等情報等については電子添文をご参照ください。

杏林製薬株式会社

東京都千代田区神田駿河台四丁目6番地(文献請求先及び問い合わせ先:くすり情報センター)

作成年月:2023.11

医療機器の総合商社

Wakita

富士フイルム・キヤノン特約店

株式
会社 **信越ワキタ**

長野本社 長野市アークス8-13

TEL026-228-5161 FAX026-228-5167

松本営業所 松本市笹賀7904

TEL0263-26-8166 FAX0263-26-5894

飯田営業所 飯田市鼎名古屋 2151

TEL0265-24-5474 FAX0265-24-5479

ホームページ <http://www.kk-wakita.co.jp>

ELAN

- 手ぶらで入院
- 手ぶらで面会

全国 **2,237** 施設以上の導入実績 ※介護施設も含む

CSセット

日額定額制

衣類

タオルや紙おむつ

日常生活用品

エランの「CSセット」が選ばれる理由 厳選 3

1 オリジナル患者衣

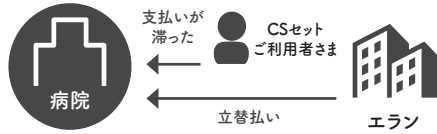
リフテ
lifte

- ☑ 甚平・浴衣・プルオーバーの3タイプ
- ☑ 肌触りがよく、柔らかい生地
- ☑ 現場の声を反映したケアしやすいデザイン

2 入院費用保証

(CSセットR)

ご利用者さまに代わって、入院費用の立替払いを行うサービス



- ☑ 入院費の未収リスクなし
- ☑ 未収金回収の業務コストを削減

3 トラブル保証

(CSセットLC入院保証)

ご利用者さまによる入院中の損害事故を保証するサービス



1事故につき
最大100万円
まで補償

【保証対象の事故例】

- ご利用者さまが、
- 誤ってナースコールの線を破損
 - 紙おむつを便器に流し配管を詰まらせた

☎ 025-255-5580
(9:00~17:00)

株式会社エラン

<https://csset.kkelan.com>

✉ request@kkelan.com

【新潟支店】 〒950-0901

新潟県新潟市中央区弁天3丁目2番3号 ニッセイ新潟駅前ビル7F



株式会社JTB
新潟支店

新潟県新潟市中央区東万代町1-30
新潟第一生命ビルディング3階

TEL:025-255-5101 / FAX:025-248-7687



株式会社JTB
トラベルデスク新潟

新潟県新潟市中央区東万代町1-30
新潟第一生命ビルディング3階

TEL:025-255-5176 / FAX:025-248-7687



株式会社JTB
イオンモール新潟南店

新潟県新潟市江南区下早通柳田1-1-1
イオンモール新潟南店2階

TEL:025-383-1055 / FAX:025-383-1058



JTB
感動のそばに、いつも。



抗ウイルス剤

処方箋医薬品^{注3}

ベクルリー[®] 点滴静注用 100mg

VEKLURY[®] for Intravenous Injection 【薬価基準収載】

(レムデシビル・注射用凍結乾燥製剤)

注) 注意—医師等の処方箋により使用すること

※効能又は効果、用法及び用量、「禁忌を含む注意事項等情報」等につきましては電子添文をご参照ください。

製造販売元：

ギリアド・サイエンシズ株式会社
〒100-6616 東京都千代田区丸の内1-9-2 クラントウキョウサウスタワー
<https://www.gilead.co.jp/>

文献請求先及び問合せ先：

ギリアド・サイエンシズ株式会社
メディカルサポートセンター
フリーダイヤル 0120-506-295 9:00-17:30(土日祝日及び会社休日を除く)

VKY22DS0178AD
2023年8月作成



なんとかしたい。 だから、挑む。

人類の歴史にはさまざまな挑戦者がいた。どんなに失敗しても、彼らの熱意や想いが何度も立ち上がらせ、その結果、常識を打ち破り新しい世界を見せてくれた。医薬はどうだ。空を自由に飛び、宇宙にまで届く時代に、私たちの体の中には未解決の課題が山積している。私たちにはやるべきことがある。助けなければならない人がいる。だから、挑む。住友ファーマは、精神神経領域およびがん領域を重点疾患領域とし、これまで紡ぎあげてきた当社の経験と知識を最大限生かせるこれらの領域において、引き続き、医薬品、再生・細胞医薬、非医薬等の研究開発に挑み続けます。

 **Sumitomo Pharma**
Innovation today, healthier tomorrows



詳しくはこちら

TAMURA
ARTIFICIAL
LIMBS CO., LTD.

ご利用者様の思いをかたちに
すべての仕事に心を残すために

SNS

〒950-1151新潟市中央区湖南21-1
TEL025-281-0303

(株)田村義肢製作所

+K KYOEIDO

株式会社 共栄堂
代表取締役社長 永田 浩史

住所：新潟県新潟市江南区亀田大月二丁目5番38号
電話：025-383-1200
FAX：025-383-1201

地域に 健康を。 笑顔

we make health and a smile.



新潟県内に展開する調剤薬局チェーンとして12店舗展開

エム・ケイ薬局



有限会社エム・ケイ・メディカル
新潟県小千谷市城内4-1-38
<https://www.mk-m.co.jp/>
Tel:0258-83-3787
Fax:0258-83-5870



病気だけでなく、
創薬の常識にも立ち向かう。
未知のイノベーションで、
病気より先に未来へ行く。
できそうもない薬でなければ
私たちが生み出す意味はない。

創造で、想像を超える。



中外製薬



ロシュグループ



サラヤは医療現場における感染対策をサポートします。



商品の詳しい情報は
こちらから▶

サニサーラ 速乾性 第3類医薬品 手指消毒剤 Aqua Light

76.9~81.4vol% エタノール配合

保湿成分配合



500mL
扁平ポンプ付
繊維
対応
減容容器



250mLポンプ付



60mL



とろけるように
手肌になじむ!

- 多種類の保湿成分(6種)を配合し、手荒れに配慮しています。
- 繰り返しの手指消毒後もべたつかず、手袋装着などの作業の妨げになりません。
- 携帯用からディスペンサー用まで使用環境に合わせてご使用いただけます。



ノータッチ
センサー

壁付型
フルカラー
乾電池

ノータッチ式ディスペンサー
UD-9600A

ティスホーザブル

環境
対応
減容容器

600mL
ディスペンサー用

SARAYA

サラヤ株式会社

<https://med.saraya.com/>

〒546-0013 大阪市東住吉区湯里2-2-8 TEL.(06)6797-2525

【資料請求先】TEL.(06)4706-3938(学術部)



2024年4月、 北里大学の新しい学部が新潟に誕生。

■看護学科
(入学定員80名)

■医療検査学科
(入学定員80名)



北里大学 健康科学部

Kitasato University School of Health Sciences

TEL 0120-451-185



〒949-7241 新潟県南魚沼市黒土新田500番

JR上越新幹線・上越線「浦佐駅」東口から無料通学バスで7分

北里大学 健康科学部

人と動物の健康の向上 - 私たちの目標

イノベーションによる
価値

ベーリンガーインゲルハイムは、
研究開発主導型のバイオ製薬企業の
リーディングカンパニーとして、
アンメットメディカルニーズの
高い分野において、イノベーションによる
価値の創出に日々取り組んでいます。
1885年の創立以来、
ベーリンガーインゲルハイムは、
株式を公開しない独立した企業形態により
長期的視野を維持しています。

日本ベーリンガーインゲルハイム株式会社

本社 / 〒141-6017 東京都品川区大崎2-1-1 ThinkPark Tower
<https://www.boehringer-ingenheim.com/jp/>



Boehringer
Ingelheim

医療現場の 未来を支える人材を

施設基準管理士®は施設基準の届出等を
総合的に管理・運用する医療マネジメント職として
日本で唯一の資格

(2018年1月設立)



一般社団法人

日本施設基準管理士協会



〒100-0014

東京都千代田区永田町1-11-1 三宅坂ビル



新潟 ⇄ 札幌(丘珠)^{おかだま}線

片道 6,900円~

※運賃は、残席数に応じて変動いたします。



今度の休み、何してる？

TOKI AIR「ぷら旅」のススメ

お得な航空券だからできる気軽な旅。

TOKI AIR なら、“思い立ったらぷらっと行ける”が叶います！

札幌のスープカレーが
食べたい気分ー。

ねーねー、
美人の湯入りたいね♪

新潟って
アウトドア用品の
聖地だよな。

推しが北海道に
来るー！

知ってる？/
TOKI AIR って 6,900円から
航空券予約できるらしいよ！

新潟の「タレかつ」、
知ってる？

北海道の広〜い牧場で
乗馬したい！

野生の朱鷺(トキ)
見てみたい！



じゃ、行ってみよう！

TOKI AIR でぷらっと空旅「ぷら旅」へ

ぷら
ら
っ
と
札
幌
「
ぷ
ら
ぽ
ろ
」

ぷら
ら
っ
と
新
潟
「
ぷ
ら
が
た
」

Why TOKI AIR?

お預けの荷物は



20Kgまで
無料

座席指定料



不要

クレジットカード



決済手数料
不要

【運航ダイヤ】週4日(月金土日)運航

新潟発 → 札幌(丘珠)着			札幌(丘珠)発 → 新潟着		
便名	出発	到着	便名	出発	到着
BV101	10:10	11:45	BV102	12:15	14:00
BV103	14:30	16:05	BV104	16:35	18:20

※上記は2024年3月31日～2024年10月26日運航分の時刻表となります。
※運航曜日などの最新の情報等はトキエアWEBサイトをご確認ください。
※スケジュールは予告なく変更となる場合がございます。



お客様の「自由時間」を大切にし、 心づくしのおもてなしをさせていただきます。

四季折々の景観を楽しめる新潟県・十日町。
中でも広大な大地、清らかな水辺、そして緑豊かな森に囲まれた
あてま高原にベルナティオはあります。

もとより自然に恵まれたこの地をイメージして、
私どもはイタリア語のBel Paese Natio=「美しきふるさと」にちなみ、
ベルナティオ (BELNATIO) と名付けました。
当リゾートは自然保護のため、
510ヘクタール=東京ディズニーランドの約10倍もの敷地を所有。
“自然との共生”を目指しています。

この美しい地で、私どもがお客様へ提供するの「自由時間」。
サイクリングやゴルフ、ネイチャーツアーをアクティブにお楽しみいただく方。
閑静なブナ林を散策し、温泉にゆったり癒される方。
当リゾートでの過ごし方は、お客様のご自由に。
自然を愛しみ、楽しみ、癒されるひととき…
そのすべてを満喫できるベルナティオならではの滞在をお楽しみください。



あてま高原リゾートベルナティオ
〒949-8556 新潟県十日町市珠川 TEL: 025-758-4888 FAX: 025-758-4848

<https://www.belnatio.com/>



信濃川を見晴らす新潟のランドマーク

新潟市内を悠然と流れ日本海に注ぐ「信濃川」。

ホテル日航新潟は国際交流拠点「新潟コンベンションセンター」に併設するホテルで、その川岸に独特の風景を作り出しています。北欧スカンジナビアデザインを基調に、建物全体が信濃川に浮かぶ豪華客船に見立てられています。

市内随一の眺望を誇る客室、信濃川と万代島の美しい風景を眺めながら洗練されたお料理をお楽しみいただけるレストラン、地上120mに位置するスカイバンケットをはじめとする充実した宴会施設等、新潟のランドマークと呼ぶに相応しいホテルです。

 **ホテル日航新潟**

〒950-0078 新潟市中央区万代島 5-1 TEL.025-240-1888

<https://www.hotelnikkoniigata.jp>

